



PROFESSIONAL DIGITAL TWO-WAY RADIO

MOTOTRBO™

XiR M6660

ALPHANUMERIC DISPLAY MOBILE RADIO

USER GUIDE

en-US

zh-CN

ja-JP

ko-KR

id-ID



AUGUST 2020

© 2020 Motorola Solutions, Inc. All rights reserved.



68012008034-CH

This is to declare that MSI products comply with the EU Directive 2011/65/EU (Restriction of Hazardous Substance or RoHS-2) and India RoHS, including applicable exemptions, with respect to the following substances:

Lead (Pb) < 0.1% by weight (1000 ppm)

Mercury (Hg) < 0.1% by weight (1000 ppm)



Cadmium (Cd) < 0.01% by weight (100 ppm)





























Hexavalent Chromium (Cr6+) < 0.1% by weight (1000 ppm)











Polybrominated Biphenyls (PBB) < 0.1% by weight (1000 ppm)













Polybrominated Diphenyl Ethers (PBDE) < 0.1% by weight (1000 ppm)










目次


重要な安全情報.....	10	3.1.2 指定可能な設定またはユーティリティ機能.....	24
ソフトウェア バージョン.....	11	3.1.3 プログラムされた機能へのアクセス	24
著作権.....	12	3.2 プッシュトゥートーク ボタン.....	25
コンピュータ ソフトウェア著作権.....	14	3.3 キーパッド マイク ボタン.....	26
章 1: はじめに.....	15	章 4: ステータス インジケータ.....	28
1.1 アイコン情報.....	15	4.1 アイコン.....	28
1.2 従来型アナログおよびデジタル モード.....	16	4.2 LED インジケータ.....	31
1.3 IP Site Connect.....	16	4.3 トーン.....	32
1.4 Capacity Plus–シングルサイト 	17	4.3.1 インジケータ トーン.....	32
1.5 Capacity Plus–マルチサイト 	17	4.3.2 オーディオ トーン.....	32
章 2: はじめに.....	19	章 5: ゾーンとチャネルの選択.....	34
2.1 無線機の電源のオン.....	19	5.1 ゾーンを選択.....	34
2.2 無線機のリセット.....	19	5.2 エイリアス検索を使用したゾーンを選択.....	34
2.3 無線機の電源のオフ.....	19	5.3 チャネル選択.....	35
2.4 音量の調節.....	20	章 6: 通話.....	36
章 3: 無線機コントロール.....	21	6.1 グループ通話.....	37
3.1 プログラム可能ボタン.....	21	6.1.1 グループ通話の発信.....	37
3.1.1 指定可能な無線機機能.....	22	6.1.2 連絡先リストを使用したグループコールの発信.....	38









6.1.3 エイリアス検索を使用したグループコールの発信  	39	6.3.4 一斉コールの受信.....	50
6.1.4 プログラム可能な数値キーを使用したグループコールの発信  	40	6.4 選択コール 	51
6.1.5 グループ通話への応答.....	41	6.4.1 選択コールの発信.....	51
6.2 個別通話 	42	6.4.2 選択コールへの応答 	51
6.2.1 個別通話の発信 	42	6.5 電話通話 	52
6.2.2 連絡先リストを使用した個別コールの発信 	43	6.5.1 電話通話の発信 	53
6.2.3 エイリアス検索を使用した個別コールの発信 	44	6.5.2 連絡先リストを使用した電話通話の発信  	54
6.2.4 ダイアルを使用した個別コールの発信  	45	6.5.3 エイリアス検索を使用した電話通話の発信  	56
6.2.5 プログラム可能な数値キーを使用した個別コールの発信 	46	6.5.4 ダイアルを使用した電話通話の発信 	57
6.2.6 個別通話ルへの応答 	47	6.5.5 個別コールとして電話通話への応答 	59
6.3 一斉コール.....	47	6.5.6 グループコールとして電話通話への応答 	60
6.3.1 一斉コールの発信.....	48	6.5.7 一斉コールとして電話通話への応答 	61
6.3.2 エイリアス検索を使用した一斉コールの発信  	48	6.6 通話割り込みの開始 	61
6.3.3 プログラム可能な数値キーを使用した一斉コールの発信 	49	6.7 ブロードキャスト音声通話.....	62
		6.7.1 ブロードキャスト音声通話の発信.....	62

6.7.2 プログラム可能な数値キーを使用したブロードキャスト音声通話の発信 	63	7.3.1 ホームチャンネルリマインダのミュート.....	71
6.7.3 エイリアス検索を使用したブロードキャスト音声通話の発信  	63	7.3.2 新しいホームチャンネルの設定.....	71
6.7.4 ブロードキャスト音声通話の受信.....	64	7.4 無線機チェック 	71
6.8 未アドレス通話.....	65	7.4.1 無線機チェックの送信 	72
6.8.1 未アドレス通話の発信.....	65	7.4.2 連絡先リストを使用して無線機チェックを送信する 	72
6.8.2 未アドレス通話への応答.....	65	7.4.3 ダイアルを使用した無線機チェックの送信  	73
6.9 オープン音声チャンネルモード (OVCM).....	66	7.5 リモート モニタ.....	74
6.9.1 OVCM コールの発信.....	66	7.5.1 リモート モニタの開始.....	75
6.9.2 OVCM コールへの応答.....	67	7.5.2 連絡先リストを使用したリモート モニタの開始.....	75
章 7: 高度な機能.....	69	7.5.3 ダイアルを使用したリモート モニタの開始 	76
7.1 ダイレクト モード.....	69	7.6 スキャン リスト.....	77
7.1.1 リピータとダイレクト モードの切り替え.....	69	7.6.1 スキャン リスト内のエントリの表示.....	78
7.2 連続モニタ.....	70	7.6.2 エイリアス検索を使用したスキャン リスト内のエントリの表示 	78
7.2.1 連続モニタのオンとオフの切り替え.....	70	7.6.3 スキャン リストへの新規エントリの追加.....	79
7.3 ホームチャンネルリマインダ.....	70		

7.6.4 エイリアス検索を使用したスキャンリストへの新規エントリの追加 	80	7.9.2 既定の連絡先の設定 	89
7.6.5 スキャンリストからのエントリの削除	81	7.9.3 プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て 	89
7.6.6 エイリアス検索を使用したスキャンリストからのエントリの削除	82	7.9.4 エントリとプログラミング可能な数値キー間の関連付けの削除 	90
7.6.7 スキャンリストのエントリに対して優先度を設定する	83	7.10 通話インジケータ設定	91
7.6.8 エイリアス検索を使用してスキャンリストのエントリに対して優先度を設定する	83	7.10.1 着信音のオンとオフの切り替え (ページング用)	91
7.7 スキャン	84	7.10.2 着信音のオンとオフの切り替え (個別コール用) 	92
7.7.1 スキャンのオンとオフの切り替え	85	7.10.3 着信音のオンとオフの切り替え (選択コール用) 	93
7.7.2 スキャン中の送信への応答	86	7.10.4 着信音のオンとオフの切り替え (テキストメッセージ用) 	94
7.7.3 迷惑チャンネルの削除	86	7.10.5 警告エスカレーション トーンのオンとオフの切り替え	94
7.7.4 迷惑チャンネルの復元	87	7.11 通話履歴機能	95
7.8 投票スキャン 	87	7.11.1 最近の通話の表示	95
7.9 連絡先設定	87	7.11.2 通話リストの詳細の表示 	96
7.9.1 新規連絡先の追加	88	7.11.3 通話リストからのエイリアスまたは ID の保存  	96
		7.11.4 通話リストからの通話の削除 	97

7.11.5 通話リストからのすべての通話の削除 	98	7.14.7 緊急モードの再開.....	108
7.12 ページング操作.....	98	7.14.8 緊急モードの終了.....	109
7.12.1 ページングへの応答.....	99	7.15 テキスト メッセージング	109
7.12.2 ページングの発信.....	99	7.15.1 テキスト メッセージ 	110
7.12.3 連絡先リストを使用したページングの発信.....	99	7.15.1.1 テキスト メッセージの表示.....	110
7.12.4 ダイアルを使用したページングの発信.....	100	7.15.1.2 テキスト メッセージへの応答 	110
7.13 動的な発信者のエイリアス.....	101	7.15.1.3 クイック テキストによるテキスト メッセージへの応答 	111
7.13.1 発信者のエイリアス リストを表示する.....	101	7.15.1.4 テキスト メッセージの再送信.....	112
7.13.2 個別コールを発信者のエイリアス リストから開始.....	102	7.15.1.5 テキスト メッセージの転送 	113
7.14 緊急操作.....	102	7.15.1.6 ダイアルを使用したテキスト メッセージの転送  	113
7.14.1 緊急アラームの受信.....	103	7.15.1.7 受信 BOX からのテキスト メッセージの削除.....	114
7.14.2 緊急アラームへの応答.....	104	7.15.1.8 受信 BOX からのすべてのテキスト メッセージの削除 	115
7.14.3 緊急アラームの送信.....	105		
7.14.4 通話による緊急アラームの送信	106		
7.14.5 音声ガイドおよび緊急アラーム	107		
7.14.6 緊急アラームと音声ガイドの送信 	108		

7.15.2 送信済みテキスト メッセージ 	116	7.17.1 定義済み連絡先へのステータス更新の送信 	122
7.15.2.1 送信済みテキスト メッセージの表示 	116	7.18 プライバシ 	123
7.15.2.2 送信済みテキスト メッセージの送信 	117	7.18.1 秘話モードのオンとオフの切り替え 	124
7.15.2.3 送信 BOX フォルダからの送信済みテキスト メッセージの削除 	118	7.19 アナログ スクランプル 	124
7.15.2.4 送信 BOX フォルダからのすべての送信済みテキスト メッセージの削除	118	7.19.1 アナログ スクランプルのオンとオフの切り替え	125
7.15.3 クイック テキスト メッセージ 	119	7.19.2 アナログ スクランプル コードの設定 	125
7.15.3.1 クイック テキスト メッセージの送信 	119	7.20 複数サイト コントロール 	126
7.16 アナログメッセージエンコード	120	7.20.1 自動サイト検索の開始	126
7.16.1 ディスパッチャへの MDC エンコード メッセージの送信 	120	7.20.2 自動サイト検索の停止	126
7.16.2 連絡先への 5 トーン エンコード メッセージの送信 	121	7.20.3 手動サイト検索の有効化	126
7.17 アナログ ステータス更新 	122	7.21 セキュリティ 	127
		7.21.1 無線機の無効化 	127
		7.21.2 連絡先リストを使用した無線機の無効化 	127

7.21.3	ダイヤルを使用した無線機の無効化  	128	7.28.2	ロック状態の無線機をロック解除する	137
7.21.4	無線機の有効化 	130	7.28.3	パスワード ロックのオンとオフの切り替え	137
7.21.5	連絡先リストを使用した無線機の有効化 	130	7.28.4	パスワードの変更	138
7.21.6	ダイヤルを使用した無線機の有効化  	131	7.29	正面パネル プログラミング	139
7.22	ローン ワーカー	132	7.29.1	正面パネル プログラミングモードの開始	139
7.23	通知リスト	133	章 8:	ユーティリティ	140
7.23.1	通知リストへのアクセス	133	8.1	無線機トーン/アラートのオンとオフの切り替え	140
7.24	オートレンジ トランスポンダ システム 	133	8.2	キー操作音のオンとオフの切り替え	141
7.25	エア接続プログラミング 	134	8.3	トーン/アラートのボリューム オフセットレベルの設定	141
7.26	受信信号強度インジケータ	135	8.4	通話許可トーンのオンとオフの切り替え	142
7.26.1	RSSI 値の表示	135	8.5	パワー アップ トーンのオンとオフの切り替え	143
7.27	デュアル トーン マルチ周波数	135	8.6	出力レベル	143
7.27.1	DTMF 通話の開始	135	8.6.1	出力レベルの設定	143
7.28	パスワード ロック	135	8.7	表示輝度の調整	144
7.28.1	パスワードを使用した無線機へのアクセス	136	8.8	ホーンとライトのオンとオフの切り替え	145
			8.9	スケルチ レベル	146

8.9.1 スケルチ レベルの設定.....	146
8.10 LED インジケータのオンとオフの切り替え	147
8.11 言語の設定.....	147
8.12 音声起動送信.....	148
8.12.1 音声起動送信のオンとオフの切り替え.....	148
8.13 オプション ボードのオンとオフの切り替え	149
8.14 音声ガイドのオンとオフの切り替え.....	149
8.15 アナログ マイク AGC のオンとオフの切り替え.....	150
8.16 デジタル マイク AGC のオンとオフの切り替え.....	151
8.17 インテリジェント オーディオのオンとオフの切り替え.....	152
8.18 トリル拡張のオンとオフの切り替え.....	152
8.19 音声アンビエンス.....	153
8.19.1 音声アンビエンスの設定.....	153
8.20 音声プロファイル.....	154
8.20.1 音声プロファイルの設定.....	154
8.21 一般無線機情報.....	155

8.21.1 無線エイリアスと ID のチェック	155
8.21.2 ファームウェアとコードプラグのバージョン チェック.....	156
8.21.3 ソフトウェア更新情報のチェック	156
章 9: 認可されたアクセサリ リスト.....	157

重要な安全情報

RF Energy Exposure and Product Safety Guide for Mobile Two-Way Radios



注意:

この無線機は業務用の利用に限定されています。本無線機をご使用になる前に、『車載型業務用無線機の電磁波エネルギー被曝および製品安全性ガイド』をよくお読みください。安全にお使いいただくための取り扱い方法と、電磁波エネルギーについての重要な説明が記載されています。また、電磁波エネルギー被曝限度についての該当基準および法規制に対する適合情報も記載されています。

タイで利用可能なモデル:

อุปกรณ์โทรคมนาคมนี้ได้ปฏิบัติตามข้อกำหนดของคณะกรรมการกิจการ

โทรคมนาคมแห่งชาติ

この通信機器は、National Telecommunications Commission
の要件に適合しています。

ソフトウェア バージョン

以下の項で説明されているすべての機能が、ソフトウェアバージョン **R02.20.02.0000** 以降でサポートされます。

無線機のソフトウェア バージョンを確認するには、「[ファームウェアとコードプラグのバージョン チェック ページ 156](#)」を参照してください。

詳細については、販売店または管理者にお問い合わせください。

著作権

本書に記載されている Motorola Solutions 製品には、著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータ プログラムが含まれている場合があります。米国およびその他諸国の法律で、著作権取得済みのコンピュータ プログラムの一定の独占権が Motorola Solutions のために保護されています。従って、本書で説明される Motorola Solutions 製品に含まれるいかなる著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータ プログラムも、Motorola Solutions からの書面による明示的な許可なしに、いかなる方法においても複製または再生してはなりません。

© 2020 Motorola Solutions, Inc. 無断複写、転載を禁じます。

本書のいかなる部分についても、いかなる形式であろうと、いかなる手段によっても、Motorola Solutions, Inc. からの事前の書面による許可なしに複製、伝送、情報検索システムへの格納、あらゆる言語への翻訳、コンピュータ言語への変換をしてはいけません。

さらに、Motorola Solutions 製品の購入は、直接的あるいは黙示的、禁反言的、またはその他の方法によって、Motorola Solutions の著作権、特許または特許アプリケーションの対象となる一切のライセンスを付与するものとはみなされないものとします。ただし、製品の販売において法の運用によって生ずる通常の非独占的、ロイヤルティ不要の使用ライセンスについては、この限りではありません。

免責条項

一部のシステムに対して、このマニュアルで説明する機能、設備、性能が適用されない、またはライセンスされない場合があります。また、モバイル無線機ユニットの特性や特定のパラメータの設定に依存する場合があります。詳しくは、Motorola Solutions の担当者にご確認ください。

商標

MOTOROLA、MOTO、MOTOROLA SOLUTIONS、および Stylized M ロゴは、Motorola Trademark Holdings, LLC の商標または登録商標であり、許可の下に使用されます。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。

オープン ソース コンテンツ

この製品には、ライセンスの下に使用されるオープン ソース ソフトウェアが含まれています。オープン ソースの法的通知および属性の内容については、製品のインストールメディアを参照してください。

欧州連合 (EU) 電気および電子機器リサイクル法 (WEEE) 指令



■ 欧州連合の WEEE 指令では、EU 諸国に販売される製品 (場合によってはパッケージ) にゴミ箱への投入禁止ラベルを貼ることを要求しています。

WEEE 指令で規定されるとおり、このゴミ箱への投入禁止ラベルは、EU 諸国の顧客とエンドユーザーが、電気と電子装置またはアクセサリを生活廃棄物として廃棄してはならないことを意味します。

EU 諸国の顧客またはエンドユーザーは、自国の廃棄物収集システムについて、地元の販売代理店またはサービスセンターに問い合わせる必要があります。

コンピュータ ソフトウェア著作権

本マニュアルに記載されている Motorola Solutions 製品には、半導体メモリやその他メディアに保管されている著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータ プログラムが含まれている場合があります。米国およびその他諸国の法律で、著作権取得済みのコンピュータ プログラムの一定の独占権が Motorola Solutions のために保護されています。この際、著作権取得済みコンピュータ プログラムのあらゆる形態での複製または再生の独占権が含まれますが、これに限定されません。したがって、本マニュアルで説明される Motorola Solutions 製品に含まれるいかなる著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータ プログラムも、Motorola Solutions からの書面による明示的な許可を得なければ、いかなる方法においても複製、再生、修正、リバース エンジニアリング、配信できません。さらに、Motorola Solutions 製品を購入しても、直接的あるいは黙示的、禁反言的、またはその他の方法によっても、Motorola Solutions の著作権、特許、または特許出願の対象となるライセンスは、一切付与されません。ただし、製品の販売において法の運用によって生じる通常の非独占的な使用ライセンスについては、この限りではありません。

本製品に組み込まれている AMBE+2™ 音声コーディング技術は、Digital Voice Systems, Inc. の特許、著作権、企業秘密を含む知的所有権で保護されています。

この音声コーディング技術は、この通信機器の範囲内での使用のみを対象にライセンス付与されています。この技術を使用するユーザーは、オブジェクト コードを逆コンパイル、リバース エンジニアリング、逆アセンブルしようと試みること、またはいかなる方法においてもオブジェクト コードを人間が読み取り可能な形式に変換しようと試みることを明確に禁じています。

米国特許番号 #5,870,405、#5,826,222、#5,754,974、#5,701,390、#5,715,365、#5,649,050、#5,630,011、#5,581,656、#5,517,511、#5,491,772、#5,247,579、#5,226,084 および #5,195,166。

オープン ソース ソフトウェアの法定通知

この Motorola Solutions 製品にはオープン ソース ソフトウェアが含まれています。ライセンス、承認、必要な著作権表記、およびその他の使用条件の詳細については、次の Web ページで、該当する Motorola Solutions 製品の文書を参照してください。

<https://asiaonline.motorolasolutions.com>

はじめに

このユーザー ガイドでは、無線機の操作方法を説明しています。

ディーラーやシステム管理者が、特定のニーズのために無線機をカスタマイズしている可能性もあります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

以下については、ディーラーまたはシステム管理者にお問い合わせください。

- 従来チャンネルのプリセットが無線機にプログラムされているか？
- 他の機能にアクセスするために、どのボタンがプログラムされているか？
- どのオプション アクセサリが自分のニーズに対応するか？
- 効果的に通信するには、無線機をどのように使用すれば良いか？
- 無線機の寿命を延ばすには、どのような保守手段が役立つか？

1.1

アイコン情報

このガイドでは、従来型アナログ モードのみの機能、従来型デジタル モードのみの機能、キーパッド対応マイクのみ機能を区別するために、以下のアイコンが使われています。



従来型アナログ モードのみの機能を示しています。



従来型デジタル モードのみの機能を示します。



従来型キーパッド対応マイクのみ機能を示します。

従来型アナログとデジタルの両方のモードで利用可能な機能については、両方のアイコンが表示されません。

1.2

従来型アナログおよびデジタル モード

無線機の各チャンネルを、従来型アナログ チャンネルか従来型デジタル チャンネルとして設定できます。

1: チャンネル セレクタ ノブ

デジタル モードからアナログ モードに切り替えると、一部の機能が使用できなくなります。アナログ モードに切り替えると、デジタル機能の各アイコンが "グレーアウト" します。無効になった機能はメニューに表示されません。

無線機には、アナログとデジタルの両方のモードで利用できる機能もあります。それぞれの機能のわずかな違いが、無線機の性能に影響を及ぼすことはありません。



注記:

また、デュアル モード スキャン中には、デジタル モードとアナログ モードが切り替わります。詳細については、「[スキャン ページ 84](#)」を参照してください。

1.3

16

IP Site Connect

この機能を使用すると、従来のシングルサイトでは無線機の通信範囲外となる場所でも、インターネット プロトコル (IP) ネットワークを使用して利用可能な別のサイトに接続するして通信できます。これは従来のマルチサイト モードです。

一方のサイトの通信範囲から外れて別のサイトの通信範囲に無線機が移動すると、新しいサイトのリピータに接続して、通話またはデータを送受信します。設定に応じて自動または手動で接続を切り替えます。

自動サイト検索では、現在のサイトからの信号が弱い場合や、無線機が現在のサイトからの信号をまったく検出できない場合に、利用可能サイトをすべてスキャンします。次に、無線機は受信信号強度インジケータ (RSSI) 値が最も強いリピータにロックします。

手動サイト検索では、無線機は、信号強度が最も強いサイトを検索するのではなく、現在通信範囲内にあるローミングリストの次のサイトを検索し、リピータにロックします。



注記:

各チャンネルで、スキャンまたはローミングのどちらかを有効にできますが、両方同時に有効にはできません。

この機能が有効になっているチャンネルは、特定ローミングリストに追加されます。自動ローミング動作時にローミングリスト内のチャンネルが検索され、最適なサイトが検出されます。ローミングリストでは、最大 16 チャンネルを使用できます (選択したチャンネルを含む)。



注記:

手動では、ローミングリスト内のエントリの追加や削除はできません。詳細については、ディーラーにお問い合わせください。

1.4

Capacity Plus–シングルサイトTM

Capacity Plus–シングルサイトは、MOTOTRBO 無線機システムのシングルサイト トランキング構成であり、多数のユーザーと最大で 254 のグループをサポートするためのチャンネルプールを使用します。この機能を使用すると、リピータモードのとき、お使いの無線機でプログラムされたチャンネル数を有効活用できます。

Capacity Plus–シングルサイトでは利用できない機能に、プログラム可能ボタンからアクセスしようとする、ネガティブインジケータトーンが鳴ります。

無線機には、従来型デジタルモード、IP Site Connect、および Capacity Plus のいずれのモードでも利用できる機能

もあります。ただし、それぞれの機能のわずかな違いが、無線機の性能に影響を及ぼすことはありません。

この設定の詳細については、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

1.5

Capacity Plus–マルチサイトTM

Capacity Plus–マルチサイトは、Capacity Plus と IP Site Connect 構成の優れた特徴を組み合わせた MOTOTRBO 無線機システムのマルチチャンネル トランキング構成です。

この機能を使用すると、無線機は IP ネットワーク経由で接続されている別の利用可能サイトに接続するので、シングルサイトでは通信範囲外となる地域とのトランキング通信が可能になります。また、各利用可能サイトでサポートされているプログラム済みチャンネルは、組み合わせられて効率的に利用されるため、容量も増加します。

一方のサイトの通信範囲から外れて別のサイトの通信範囲に無線機が移動すると、新しいサイトのリピータに接続して、通話またはデータを送受信します。設定に応じて、この切り替えは自動や手動で行われます。

無線機がこの切り替えを自動的に行うように設定されている場合、現在のサイトからの信号が弱くなったり、無線機が現在のサイトから信号をまったく検出できなくなった場合に、無線機はすべての利用可能サイトをスキャンします。

その後、無線機は RSSI 値が最も強いリピータにロックします。

手動サイト検索では、無線機はローミング リスト内を検索して、現在通信範囲内にある次のサイト (ただし、信号強度が最も強いサイトとは限らない) を見つけ、そのサイトにロックします。

この機能が有効になっているチャンネルは、特定ローミング リストに追加されます。無線機は、自動ローミング動作時にこれらのチャンネルを検索し、最適なサイトを見つけます。



注記:

ローミング リストへのエントリの追加や削除は手動では行えません。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

Capacity Plus-シングルサイトと同様に、Capacity Plus-マルチサイトに該当しない機能のアイコンはメニューで使用できません。プログラム可能ボタンから Capacity Plus-マルチサイトでは利用できない機能にアクセスしようとすると、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

はじめに

「はじめに」では、無線機を使用する前の準備の手順について説明します。

2.1

無線機の電源のオン

オン/オフ ボタンを押します。

成功すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。



注記:

トーン/アラート機能が無効になっている場合は、起動時にトーンは鳴りません。

- LED が緑色に点灯します。
- ディスプレイに【MOTOTRBO <TM>】が表示された後、歓迎のメッセージまたは画像が表示されます。
- ホーム画面が点灯します。

無線機の電源が入らない場合、バッテリーをご確認ください。バッテリーが充電され、正しく取り付けられているかどうか

確認してください。それでも無線機の電源が入らない場合、ディーラーにお問い合わせください。

2.2

無線機のリセット

無線機がロックされ、ボタンを押しても反応しない場合、無線機のリセットを強制できます。下記の手順に従って、無線機をリセットします。

7 秒以上 オン/オフ ボタンを押し続けます。

2.3

無線機の電源のオフ

【オン/オフ】ボタンを押し続けます。

無線機の電源が完全にオフになるまでに、最長で 7 秒かかる場合があります。

ディスプレイに【でんげんシャットダウン】と表示されません。

2.4

音量の調節

無線機の音量を調整するには、次のいずれかの操作を実行します。

- 音量を上げるには、音量アップボタンを押します。
- 音量を下げるには、音量ダウンボタンを押します。

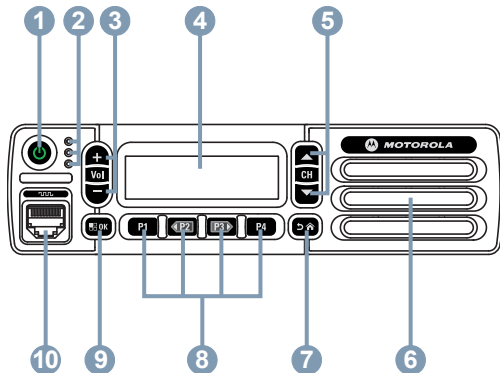


注記:

無線機には、最小音量のオフセットをプログラムできます。プログラムされた最小音量より下げることはできなくなります。

無線機コントロール

この章では、無線機を制御するボタンと機能について説明します。



- 1 オン/オフ ボタン
- 2 LED インジケータ
- 3 音量アップ/ダウン ボタン
- 4 ディスプレイ
- 5 チャンネル アップ/ダウン ボタン
- 6 スピーカ

- 7 戻る/ホーム ボタン
- 8 正面プログラム可能ボタン
- 9 メニュー/OK ボタン
- 10 アクセサリ コネクタ

3.1

プログラム可能ボタン

ディーラーは、プログラム可能ボタンに対して、ボタンを押す長さごとに、無線機能へのショートカットをプログラムできます。最大で6つのプリセットチャンネルまたはグループをプログラムできます。

短押し

押してすぐに離します。

長押し

プログラムされた時間の間、押し続けます。

ボタン押しの長さをプログラミングすれば、割り当てる無線/ユーティリティの機能や設定に適用できます。



注記:

[きんきゅう] ボタンを押す長さをプログラミングする方法については、「[緊急操作 ページ 102](#)」を参照してください。

3.1.1

指定可能な無線機機能

無線機の以下の機能をプログラム可能なボタンに割り当てることができます。

アナログ スクランブル

アナログ スクランブルのオンとオフを切り替えます。

音声アンビエンス

無線機が動作する環境をユーザーが選択できます。

音声プロファイル

優先される音声プロファイルをユーザーが選択できません。

連絡先

連絡先リストに直接アクセスできます。

ページング

連絡先リストに直接アクセスして、ページングの送信先となる連絡先を選択できるようにします。

通話履歴

通話履歴のリストを選択します。

チャンネル アナウンスメント

現在のチャンネルのゾーンとチャンネル アナウンス音声メッセージを示します。

緊急

プログラムに応じて、緊急通話を始動またはキャンセルします。

Int オーディオ

インテリジェント オーディオのオンとオフを切り替えます。

ダイヤル

無線機の ID を入力して個別コールを開始します。

手動サイト ローミング¹

手動サイト検索を開始します。

モニタ

選択されたチャンネルのアクティビティをモニタします。

通知

通知リストに直接アクセスできます。

迷惑チャンネル削除¹

選択されたチャンネルを除く不要なチャンネルをスキャンリストから一時的に削除します。選択されたチャンネルとは、スキャンの開始元として選択されたゾーンまたはチャンネルの組み合わせを指します。

¹ Capacity Plus では利用できません。

ワンタッチ アクセス

事前に定義した個別コール、電話通話、グループ コール、ページング、クイック テキスト メッセージ、またはホーム復帰を直接開始します。

連続モニタ ¹

機能が無効になるまで、選択されたチャンネルですべての無線機トラフィックをモニタします。

電話

電話連絡先リストに直接アクセスできます。

秘話モード

秘話モードのオンとオフを切り替えます。

無線エイリアスと ID

無線エイリアスと ID を提供します。

無線機チェック

システム内の無線機がアクティブであるかどうかを判別します。

停止解除

ターゲットの無線機を遠隔で有効にできます。

無線停止

相手の無線機を遠隔で無効にできます。

リモート モニタ

インジケータを表示せずにターゲットの無線機のマイクをオンにします。

リピータ/ダイレクト ¹

リピータの使用と、別の無線機との直接的な通信とを切り替えます。

ホーム チャンネルのリセット

新規ホーム チャンネルを設定します。

ホーム チャンネル リマインダのミュート

ホーム チャンネル リマインダをミュートします。

スキャン ²

スキャンのオンとオフを切り替えます。

サイト情報

Capacity Plus-マルチサイトの現在のサイト名と ID を表示します。

音声ガイドが有効になっているときに、現在のサイトの音声ガイド メッセージを再生します。

サイト ロック ¹

オンに切り替えた場合、無線機は現在のサイトのみを検索します。オフに切り替えた場合、無線機は現在のサイトに加え、他のサイトも検索します。

² Capacity Plus-シングルサイトでは利用できません。

状態

ステータス リスト メニューを選択します。

テキスト メッセージ

テキスト メッセージ メニューを選択します。

強制停止

現在進行中の割り込み可能な通話を停止し、チャンネルを解放します。

トリル拡張

トリル拡張のオンとオフを切り替えます。

音声ガイド オン/オフ

音声ガイドのオンとオフを切り替えます。

音声起動送信 (VOX)

VOX のオンとオフを切り替えます。

ゾーンせんたく

ゾーンのリストからの選択を可能にします。

3.1.2

指定可能な設定またはユーティリティ機能

無線機の以下の設定またはユーティリティ機能をプログラム可能なボタンに割り当てることができます。

トーン/アラート

全トーンとアラートのオンとオフを切り替えます。

アナログ スクランブル コード

スクランブル コードを 3.29kHz と 3.39kHz の間で切り替えます。

バックライト輝度

輝度レベルを調節します。

チャンネル アップ/ダウン

プログラムに従い、チャンネルを次のチャンネルまたは前のチャンネルに切り替えます。


出力レベル

送信出力レベルの高低を切り替えます。

3.1.3

プログラムされた機能へのアクセス

下記の手順に従って、無線機でプログラムされた機能にアクセスします。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされたボタンを押します。 **ステップ 3** に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。

2 **[P2]** または **[P3]** を押してメニュー機能に移動したら、**[OK]** を押して機能を選択するか、サブメニューに移動します。

3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- **[戻る]** を押して前の画面に戻ります。
 - ホーム画面に戻るには、**[戻る]** を長押しします。
- 一定の期間操作しないと、無線機は自動的にメニューを終了し、ホーム画面に戻ります。

メニュー ナビゲーション ボタンはキーパッド付きマイクにもあります。「[キーパッドマイクボタン ページ 26](#)」を参照してください。

- 通話中に **PTT** ボタンを使用して、通話に加わっている他の無線機に送信できます。**PTT** ボタンを押すと、マイクが有効になります。
- 通話中でないときは、新規通話を発信するために **[PTT]** ボタンを使用します ([「通話 ページ 36」](#)を参照)。

通話許可トーンまたは PTT サイドトーン **[PTT]** が有効となっている場合は、短い警告トーンが終了してから話します。

[PTT] お使いの無線機でチャンネルフリー通知機能が有効になっている (ディーラーによってプログラムされている) 場合、ターゲットの無線機 (通話を受けている無線機) で **[PTT]** ボタンが放された瞬間に、短いアラート トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが空いて、応答できるようになったことを示します。

[PTT] 通話が中断されると、継続した通話禁止音が聞こえます。通話禁止音が継続的に聞こえた場合は、**PTT** ボタンを放します。

3.2

プッシュトゥーク ボタン








プッシュトゥーク ボタン (**PTT**) ボタンには基本的に 2 つの目的があります。

3.3

キーパッド マイク ボタン

4 ウェイ ナビゲーション キーパッド マイク (Motorola Solutions 部品番号 PMMN4089_) の英数字キーパッドを使用して、無線機の機能にアクセスし、無線機のエリアスまたは ID を入力できます。1つのキーを複数回押さないと入力できない文字もあります。次の表は、必要な文字を入力するために1つのキーを押す回数を示します。

キー	キーを押す回数												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
①	1	.]	,	?	!	@	&	'	%	—	:	*	#
② abc	A	B	C	2									
③ def	D	E	F	3									
④ ghi	G	H	I	4									
⑤ jkl	J	K	L	5									
⑥ mno	M	N	O	6									
⑦ pqrs	P	Q	R	S	7								
⑧ tuv	T	U	V	8									

キー	キーを押す回数												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
 wxyz	W	X	Y	Z	9								
 0	0		注記: 押すと「0」が入力されます。長く押すと CAPS lock がオンになります。再度長く押すと、CAPS lock がオフになります。										
 *	* または del		注記: テキストの入力中に押すと、文字が削除されます。数字の入力中に押すと、“*”が入力されます。										
 #	# または スペース		注記: テキストの入力中に押すと、スペースが挿入されます。数字の入力中に押すと、“#”が入力されます。										

ステータス インジケータ

この章では、無線機で使用するステータス インジケータおよびオーディオ トーンについて説明します。




4.1

アイコン

この章では、無線機で使用するステータス インジケータおよびオーディオ トーンについて説明します。

表 1: ディスプレイ アイコン

次のアイコンは、無線機ディスプレイ上部のステータス バーに表示されます。アイコンは外観や使用法の順に左詰めで配列され、チャンネル固有です。

	緊急 無線機が緊急モードです。
	大量データ 大量データを受信中で、チャンネルがビジーです。
	モニタ 選択されたチャンネルをモニタ中です。

	通知 通知リストに、1 つ以上の不在イベントがあります。
	オプション ボード オプション ボードが有効です。(オプション ボード対応モデルのみ)。
	オプション ボード非動作 オプション ボードが無効です。
	無線 (Over-the-Air) プログラミング遅延タイマ 無線機の自動再起動までの残り時間を示します。
	高出力 無線機は高出力に設定されています。
	低出力 無線機は低出力に設定されています。
	受信信号強度インジケータ (RSSI) 表示されるバーの数は、無線機の信号強度を表します。バーが 4 本のときが最大強度です。このアイコンは受信時のみに表示されます。

	スキャン ³ スキャン機能が有効になっています。
	スキャン - 優先度 1 ³ 無線機は、優先度 1 に指定されたチャネル/グループのアクティビティを検出します。
	スキャン - 優先度 2 ³ 無線機は、優先度 2 に指定されたチャネル/グループのアクティビティを検出します。
	セキュア 秘話モード機能が有効です。
	サイト ローミング ⁴ サイト ローミング機能が有効です。
	³ ダイレクトモード リピータがない場合、無線機は無線機間で直接通信を行うように設定されています。





	トーン無効 トーンがオフです。
	非セキュア 秘話モード機能が無効です。
	投票スキャン 投票スキャン機能が有効です。

表 2: 通話アイコン

以下は、通話中にディスプレイに表示されるアイコンです。これらのアイコンは、[れんらく さき] リストにも表示され、エイリアスや ID タイプを示します。

	個別コール 個別コール中であることを示します。 [れんらく さき] リストでは、無線機のエイリアス (名前) または ID (番号) を示します。
---	---

³ Capacity Plus では利用不可です。

⁴ Capacity Plus-シングルサイトでは利用不可




	<p>グループコール／斉コール グループコール中または一斉コール中であることを示します。[れんらくさき] リストでは、グループのエイリアス(名前)または ID(番号)を示します。</p>
	<p>グループコール／斉コールとしての通話 グループコールまたは一斉コールとして通話中であることを示します。[れんらくさき] リストでは、グループのエイリアス(名前)または ID(番号)を示します。</p>
	<p>個別コールとしての通話 個別コールとして通話中であることを示します。[れんらくさき] リストでは、電話のエイリアス(名前)または ID(番号)を示します。</p>

表 3: ミニ通知アイコン

次のアイコンは、タスクを実行するアクションが行われた後で、ディスプレイに瞬間的に表示されます。











	<p>送信に失敗 (ネガティブ) アクションに失敗しました。</p>
	<p>送信に成功 (ポジティブ) アクションに成功しました。</p>
	<p>通信処理中 (経過) 送信中です。これは、通信に成功または失敗したという表示の前に表示されます。</p>

表 4: 送信 BOX アイコン 

以下のアイコンは、ディスプレイ右上隅にある送信 BOX フォルダに表示されます。

	<p>処理中 送信機のエイリアスまたは ID に対するメッセージの送信は保留中で、承認を待っている状態です。グループのエイリアスまたは ID に対するメッセージの送信が保留中です。</p>
---	--

 また  は	<p>送信失敗 テキストメッセージを送信できません。</p>
 また  は	<p>送信完了 メッセージは正常に送信されました。</p>
 また  は	<p>読み込まれていない個別メッセージまたはグループメッセージメッセージが読み込まれませんでした。</p>

4.2

LED インジケータ

LED インジケータは、無線機の操作ステータスを示します。

赤色の点滅

電源投入時のセルフテストに失敗しました。

緊急送信を受信しています。

低バッテリー状態で送信しています。

オートレンジトランスポンダシステムで設定されている通信範囲から外れました。

緑色の点灯

無線機が電源オンになっています。

送信しています。

無線機はページングまたは緊急送信を送信しています。

緑色の点滅

通話またはデータを受信しています。

エア接続プログラミング送信を取得しています。

エア接続アクティビティを検出しています。



注記:

このアクティビティによるプログラム済みチャネルへの影響は、デジタルプロトコルの特性によって異なります。

Capacity Plus のエア接続アクティビティを無線機が検出しているときは、LED 表示はありません。

緑色の 2 回点滅

秘話モード対応通話またはデータを受信しています。

黄色の点灯

従来型チャネルをモニタしています。

黄色の点滅

アクティビティをスキャンしています。

ページングにまだ応答していません。

すべての Capacity Plus-マルチサイト チャンネルがビジー状態です。

黄色の 2 回点滅

自動ローミング機能が有効です。

新規サイトを検索しています。

グループのページングにまだ応答していません。

ロックされています。

Capacity Plus の間は、無線機はリピータに接続されません。

すべての Capacity Plus チャンネルがビジー状態です。

4.3

トーン

以下は、無線機のスピーカから鳴るトーンです。



高いトーン



低いトーン

32

4.3.1

インジケータ トーン

タスクを実行するアクションが行われた後、インジケータ トーンによりステータスが音声で通知されます。



ポジティブ インジケータ トーン



ネガティブ インジケータ トーン

4.3.2

オーディオ トーン

オーディオ トーンは、無線機の状態や無線機が受信したデータへの応答を音で知らせます。



連続トーン

モノ トーン音。終了まで連続音が鳴ります。



定期トーン

無線機で設定した期間、定期的に音が鳴ります。トーンが開始、中止、反復されます。



反復トーン

ユーザーが停止するまで、シングル トーンが繰り返されます。



瞬間トーン

無線機で設定した短いトーンが 1 回鳴ります。

ゾーンとチャネルの選択

この章では、無線機でゾーンまたはチャネルを選択する操作について説明します。ゾーンとは、チャネルのグループのことです。


無線機は最大 128 チャネルと 25 ゾーンをサポートします。1 ゾーンの最大チャネル数は 128 です。




それぞれのチャネルでは、異なる機能をプログラムすることも、異なるユーザーグループをサポートすることもできます。

5.1




ゾーンの選択

下記の手順に従って、無線機に必要なゾーンを選択します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた [ゾーンせんたく] ボタンを押します。ステップ 3 に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して [ゾーン] に移動します。
 を押して選択します。

ディスプレイに ✓ と現在のゾーンが表示されます。


- 3  または  を押して必要なゾーンに移動します。
 を押して選択します。

ディスプレイに [<ゾーン> せんたくずみ] が一時的に表示され、すぐに選択されたゾーンの画面に戻ります。

5.2

エイリアス検索を使用したゾーンの選択

下記の手順に従って、エイリアス検索を使用して、無線機に必要なゾーンを選択します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 **◀P2** または **P3▶** を押して [ゾーン] に移動します。
OK を押して選択します。

ディスプレイに ✓ と現在のゾーンが表示されます。

- 3 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。
ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。
-

- 4 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。
エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されます。同じ名前のエントリが 2 つ以上ある場合、リストの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。

テキスト行の 1 行目に入力した文字が表示されます。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表示されます。

- 5 **OK** を押して選択します。

ディスプレイに [〈ゾーン〉 せんたくずみ] が一時的に表示され、すぐに選択されたゾーンの画面に戻ります。

5.3 チャンネル選択

ゾーンの選択後、下記の手順に従って、無線機で必要なチャンネルを選択します。

以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた [チャンネル アップ/チャンネル ダウン] ボタンを押します。
 - プログラムされた [音量アップ/音量ダウン] ボタンを押します。
-

通話

この章では、通話の受信、応答、発信、停止の操作について説明します。

以下の機能のいずれかを使用してチャンネルを選択した後、無線機のエイリアスまたは ID、あるいはグループのエイリアスまたは ID を選択できます。

エイリアス検索

この方法は、キーパッド マイクを併用して、グループコール、個別コール、および一斉コールのみに使用しません。

連絡先リスト

この方法では、連絡先リストに直接アクセスできます。

ダイヤル (連絡先を使用)

この方法は、キーパッド マイクを併用して、個別コールおよび通話のみに使用します。

プログラム可能な数値キー

この方法は、キーパッド マイクを併用して、グループコール、個別コール、および一斉コールのみに使用しません。



注記:

各数値キーに割り当てできるのは単一のエイリアスまたは ID ですが、単一のエイリアスまたは ID は、複数の数値キーに関連付けできます。キーパッド マイクのすべての数値キーに割り当てできます。詳細については、「[プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て ページ 89](#)」を参照してください。

プログラムされた [ワン タッチ アクセス] ボタン

この方法は、グループコール、個別通話、および電話通話のみに使用します。

ワン タッチ アクセス ボタンでは、プログラム可能ボタンの短押しまたは長押しに、それぞれ単一の ID のみを割り当てできます。お使いの無線機で、複数の [ワン タッチ アクセス] ボタンをプログラムできます。

プログラム可能ボタン

この方法は、電話通話のみに使用します。

6.1

グループ通話

ユーザー グループとの通話を受信/発信するには、無線機をそのグループの所属に設定する必要があります。

6.1.1

グループ通話の発信


下記の手順に従って、無線機でグループ コールを発信します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - アクティブなグループのエイリアスまたは ID のチャンネルを選択します。
 - プログラムされた【ワンタッチ アクセス】ボタンを押します。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を送信します。


緑色の LED が点灯します。ディスプレイに、グループ コール アイコンとグループ コール エイリアスが表示されます。

- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
-  **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。ディスプレイにグループ コール アイコン、グループのエイリアスまたは ID と、送信側無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。

- 5  チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。通話を開始する前の画面に戻ります。

6.1.2

連絡先リストを使用したグループコールの発信

下記の手順に従って、連絡先リストを使用して無線機でグループコールを発信します。

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して「れんらくさき」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。**[OK]** を押して選択します。
- 4 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。
緑色の LED が点灯します。
- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

- **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

- 6 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。
相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。
- 7 **チャンネルフリー** 指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。
音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。



6.1.3





エイリアス検索を使用したグループ コールの発信

エイリアスや英数字検索を使用して、必要な無線機のエイリアスを取得することもできます。この機能は、[れんらくさき] のみに適用されます。




注記:

エイリアス検索を終了するには、 ボタンまたは  を押します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [れんらくさき] に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイにアルファベット順でエントリが表示されます。
- 3 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。
ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。
- 4 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。

エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されません。同じ名前のエントリが2つ以上ある場合、リストの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。

テキスト行の1行目に入力した文字が表示されます。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表示されます。

- 5 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。
緑色の LED が点灯します。ディスプレイに宛先 ID、通話タイプ、[グループ コール] アイコンが表示されます。
- 6 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- 7 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。
相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。
- 8  チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応

答できるようになったことを示しています。電話に
応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた
時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴
ります。ディスプレイに【コールしゅうりょう】と
表示されます。

6.1.4

プログラム可能な数値キーを使用したグ ループ コールの発信

下記の手順に従って、プログラム可能な数値キーを使用し
て無線機でグループ コールを発信します。

- 1 ホーム画面が表示されている場合、プログラム可能
な数値キーを長く押すと、事前に定義されたエイリ
アスまたは ID が表示されます。

数値キーが特定のモードのエントリに割り当てられ
ている場合、別のモードで数値キーを長く押しても、
この機能は使用できません。

数値キーがエントリに割り当てられていない場合、
ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。


- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイの右上隅
に【グループ コール】アイコンが表示されます。テ
キスト行の 1 行目に無線機のエイリアスが表示され
ます。テキスト行の 2 行目に、個別コールの場合は
通話ステータスが表示され、一斉コールの場合は【い
っせいコール】と表示されます。

- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向
かってはっきりと話します (有効な場合)。

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯し
ます。宛先のエイリアスが表示されます。

- 5  チャネル フリー指示機能が有効になっている場
合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い
警告トーンが鳴ります。これは、そのチャネルが応
答できるようになったことを示しています。電話に
応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた
時間が経過すると、通話が終了します。通話を開始
する前の画面に戻ります。

詳細については、[プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て ページ 89](#) を参照してください。



6.1.5 グループ通話への応答

ユーザー グループからの通話を受信するには、無線機がそのグループの一部として設定されている必要があります。下記の手順に従って、無線機でグループ コールに応答します。

グループ通話を受信した場合:


- 緑色の LED が点滅します。
- ディスプレイの右上隅に、発信者の ID 情報が表示されます。
- ディスプレイの右上隅に【グループ コール】アイコンが表示されます。
- テキスト行の 1 行目に【グループ コール】アイコンとエイリアスが表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  チャネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。
-  音声割り込み機能が有効になっている場合、**PTT** ボタンを押して送信側無線機から音声に割り込んで、応答できるようにそのチャンネルを解放します。

緑色の LED が点灯します。


2 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
-  **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

無線機が、ホーム画面以外の画面でグループ コールを受信すると、通話に応答するまでその画面のままとなります。

応答前に発信者のエイリアスを確認するには、 ボタンを長押ししてホーム画面に戻ります。

6.2

個別通話

個別コールとは、1 台の無線機から別の 1 台の無線機への通話です。

個別コールには、2 つの設定方法があります。1 つは、無線機プレゼンス チェックの後で通話をセットアップする方法で、もう 1 つは通話を即座に設定する方法です。ディーラーは、これらのタイプのいずれか 1 つのみを無線機にプログラムできます。

6.2.1

個別通話の発信


個別通話を開始するには無線機をプログラムする必要があります。この機能が無効な場合に通話を開始すると、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。下記の手順に従って、無線機で個別コールを発信します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - アクティブな無線機のエイリアスまたは ID のチャンネルを選択します。
 - プログラムされた [ワンタッチ アクセス] ボタンを押します。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに こべつ コール アイコンと無線機のエイリアスが、[よびだしちゅう] と交互に表示されます。

- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。
相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。

- 5  チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。ディスプレイに「コールしゅうりょう」と表示されます。

6.2.2

連絡先リストを使用した個別コールの発信

- 1 **[電話OK]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して「れんらくさき」に移動します。**[電話OK]** を押して選択します。
- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して必要なエリアスまたは ID に移動します。**[電話OK]** を押して選択します。
- 4 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

無線機で通話の設定中に **PTT** ボタンを放すと、通知なしに前の画面に戻ります。

緑色の LED が点灯します。宛先のエリアスが表示されます。

- 5 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

- 6 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。ディスプレイに送信ユーザーのエイリアスまたは ID が表示されます。

- 7 **[電話]** チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。ディスプレイに「コールしゅうりょう」と表示されます。



6.2.3





エイリアス検索を使用した個別コールの発信 

エイリアスや英数字検索を使用して、必要な無線機のエイリアスを取得することもできます。この機能は、[れんらくさき]のみに適用されます。




注記:

エイリアス検索を終了するには、 ボタンまたは  を押します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [れんらくさき] に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイにアルファベット順でエントリが表示されます。
- 3 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。
ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。
- 4 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。

エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されません。同じ名前のエントリが2つ以上ある場合、リストの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。

テキスト行の1行目に入力した文字が表示されます。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表示されます。

- 5 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。
緑色のLEDが点灯します。ディスプレイに宛先ID、通話タイプ、[個別コール] アイコンが表示されません。
- 6 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- 7 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。
相手先の無線機が応答すると、LEDが緑色に点灯します。
- 8  チャンルフリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応

答できるようになったことを示しています。電話に
応答するには、**PTT** ボタンを押します。








音声アクティビティがないまま、事前に定められた
時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴
ります。ディスプレイに「コールしゅうりょう」と
表示されます。




6.2.4

ダイヤルを使用した個別コールの発信





下記の手順に従って、ダイヤルを使用して無線機で個別コ
ールを発信します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して「れんらくさき」に移動し
ます。  を押して選択します。
- 3  または  を押して「ダイヤル」に移動しま
す。  を押して選択します。

- 4  または  を押して「むせんきばんごう」に移
動します。  を押して選択します。

- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 無線機の ID を入力し、  を押して先に進みます。
- 前にダイヤルした無線機の ID を編集し、  を
押して先に進みます。


- 6 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。宛先のエイリアスが表
示されます。

- 7 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向
かってはっきりと話します (有効な場合)。

- 8 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯し
ます。ディスプレイに送信ユーザーのエイリアスマ
たは ID が表示されます。

- 9  チャンネル フリー指示機能が有効になっている場
合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い

警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。ディスプレイに【コールしゅうりょう】と表示されます。

6.2.5

プログラム可能な数値キーを使用した個別コールの発信

下記の手順に従って、プログラム可能な数値キーを使用して無線機で個別コールを発信します。

- 1 ホーム画面が表示されている場合、プログラム可能な数値キーを長く押すと、事前に定義されたエイリアスまたは ID が表示されます。

数値キーが特定のモードのエントリに割り当てられている場合、別のモードで数値キーを長く押しても、この機能は使用できません。

数値キーがエントリに割り当てられていない場合、ネガティブインジケータ トーンが鳴ります。


- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイの右上隅に、【こべつ コール】アイコンが表示されます。テキスト行の 1 行目に発信者のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に通話ステータスが表示されます。

- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。宛先のエイリアスが表示されます。

- 5  チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。通話を開始する前の画面に戻ります。

詳細については、「[プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て ページ 89](#)」を参照してください。

6.2.6

個別通話ルへの応答^④

下記の手順に従って、無線機で個別コールに応答します。

個別通話を受信した場合:

- 緑色の LED が点滅します。
- テキスト行の 1 行目に、[個別コール] アイコンと発信者のエイリアスが表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ^④ チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

- ^④ 強制停止機能が有効になっている場合、**PTT** ボタンを押して進行中の割り込み可能通話を停止して、応答できるようにそのチャンネルを解放します。

緑色の LED が点灯します。

2 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。ディスプレイに「コールしゅうりょう」と表示されます。

6.3

一斉コール

一斉コールとは、ある無線機からチャンネルの各無線機への通話を指します。一斉コールは、ユーザーの注意を十分に

促す必要がある重要な通知に使用されます。チャンネルのユーザーは、一斉コールには応答できません。

6.3.1 一斉コールの発信


一斉コールを発信するには無線機をプログラムする必要があります。下記の手順に従って、無線機で一斉コールを発信します。

1 アクティブな一斉コールグループのエイリアスまたは ID があるチャンネルを選択します。

2 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに、グループコールアイコンと【いっせいコール】が表示されます。

3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
-  PTT サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

チャンネルのユーザーは、一斉コールには応答できません。



6.3.2 エイリアス検索を使用した一斉コールの発信


下記の手順に従って、エイリアス検索を使用して無線機で一斉コールを発信します。




エイリアスや英数字検索を使用して、必要な無線機のエイリアスを取得することもできます。この機能は、【れんらくさき】のみに適用されます。



注記:

エイリアス検索を終了するには、 ボタンまたは  を押します。

1  を押してメニューにアクセスします。

2  または  を押して【れんらくさき】に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイにアルファベット順でエントリが表示されます。


3 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。
ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。

4 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。
エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されません。同じ名前のエントリが2つ以上ある場合、リストの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。
テキスト行の1行目に入力した文字が表示されます。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表示されます。

5 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。
緑色の LED が点灯します。ディスプレイに宛先 ID、通話タイプ、[グループ コール] アイコンが表示されます。

6 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

7 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。
相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。

8  チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。
音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。ディスプレイに「コールしゅうりょう」と表示されます。

6.3.3

プログラム可能な数値キーを使用した一斉コールの発信

下記の手順に従って、プログラム可能な数値キーを使用して無線機で一斉コールを発信します。

1 ホーム画面が表示されている場合、事前に定義されたエイリアスまたは ID に割り当てられたプログラム可能な数値キーを長く押します。

数値キーが特定のモードのエントリに割り当てられている場合、別のモードで数値キーを長く押しても、この機能は使用できません。

数値キーがエントリに割り当てられていない場合、ネガティブインジケータ トーンが鳴ります。

2 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。テキスト行の 1 行目に無線機のエリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に通話ステータスが表示されます。

3 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。宛先のエリアスが表示されます。

4 チャネルフリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が PTT ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、PTT ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。通話を開始する前の画面に戻ります。

詳細については、[プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て ページ 89](#) を参照してください。

6.3.4


一斉コールの受信

一斉コールを受信した場合:

- トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。
- ディスプレイの右上隅に、発信者の ID 情報が表示されます。
- テキスト行の 1 行目に、[グループ コール] アイコンと [いっせいコール] が表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

通話が終了すると、無線機は一斉コールを受信する前の画面に戻ります。

一斉コールの場合、事前に定めた終了前の待機時間は適用されません。

 チャネルフリー指示機能が有効になっている場合、送信側無線機が [PTT] ボタンを放したときに、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが使用できるようになったことを示しています。

一斉コールには応答できません。



注記:

通話を受信中に別のチャンネルに切り替えると、無線機は一斉コールの受信を停止します。一斉コールが終了するまでは、メニューナビゲーションや編集はできません。

6.4

選択コール

選択コールとは、1 台の無線機から別の 1 台の無線機への通話です。アナログシステムでは、個別コールです。

6.4.1

選択コールの発信

選択コールを開始するには無線機をプログラムする必要があります。下記の手順に従って、無線機で選択コールを発信します。

- 1 アクティブな無線機のエイリアスまたは ID のチャンネルを選択します。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイにこべつコールアイコン、無線機のエイリアス、通話ステータスが表示されます。

- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。

- 5 音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。ディスプレイに「コールしゅうりょう」と表示されます。

6.4.2

選択コールへの応答

下記の手順に従って、無線機で選択コールに応答します。

選択コールを受信した場合:

- 緑色の LED が点滅します。

- 最初のテキスト行には、【個別コール】アイコンとともに、【せんとくコール】または【ページング コール】が表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

1 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

緑色の LED が点灯します。

2 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。ディスプレイに【コールしゅうりょう】と表示されます。

6.5

電話通話

電話通話は、個別の無線機から電話機への通話です。


無線機で電話通話機能が有効になっていない場合:

- ディスプレイに【りようふか】と表示されます。
- 無線機の通話がミュートされます。
- 通話が終了すると、前の画面に戻ります。

電話通話中、次の場合に通話が終了します。

- 事前に設定されているディアクセス コードを使用してワンタッチ アクセス ボタンを押す。
- 追加の数字の入力としてディアクセス コードを入力する。

チャンネル アクセス中、コードのアクセス/アクセス解除中、または追加の数字の送信中、無線機はオン/オフ、音量コントロール、およびチャンネル セレクタの各ボタンやノブのみ反応します。無効な入力を行うたびにトーンが鳴りません。

チャンネル アクセス中に  を押すと、コール試行が解除されます。トーンが鳴ります。



注記:

アクセス コードまたはディアクセス コードは 10 文字以下にする必要があります。

詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

6.5.1

電話通話の発信 

下記の手順に従って、無線機で通話を発信します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた **[Tel]** ボタンを押します。通話エントリ リストが表示されます。
 - プログラムされた **[ワンタッチ アクセス]** ボタンを押します。手順 3 に進みます。

-
- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。**[OK]** を押して選択します。

アクセス コードが事前に設定されていない場合、ディスプレイに「アクセスコード:」と表示されます。

-
- 3 アクセス コードを入力し、**[OK]** を押して先に進みます。

-
- 4 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイの右上隅に電話アイコンが表示されます。テキスト行の 1 行目に無線機のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に通話ステータスが表示されます。


通話に成功した場合:

- DTMF トーンが鳴ります。
- 電話機ユーザーのダイアル トーンが聞こえます。
- テキスト行の 1 行目に無線機のエイリアスが表示されます。
- ディスプレイの右上隅に **[電話]** アイコンが引き続き表示されます。


通話に失敗した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「でんわ NG」と表示されてから、「アクセスコード:」と表示されます。
- アクセス コードが **[れんらくさき]** リストで事前に設定されている場合、そのコールを開始する前の画面に戻ります。


-
- 5 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。
-

- 6 通話中に追加の数字を入力する必要がある場合、を押して先に進みます。

デュアル トーン マルチ周波数 (DTMF) トーンが鳴ります。前の画面に戻ります。

- 7 通話を終了するには、を押します。

- 8 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ディアアクセス コードが事前に設定されていない場合は、ディスプレイに「ディアアクセスコード:」と表示されたらディアアクセス コードを入力し、を押して先に進みます。前の画面に戻ります。

- プログラムされた【ワンタッチ アクセス】ボタンを押します。ワンタッチ アクセス ボタンのエントリが空の場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

DTMF トーンが鳴り、ディスプレイに「でんわせつだん」と表示されます。

通話が正常に終了した場合:

- トーンが鳴ります。

- ディスプレイに「コールしゅうりょう」と表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。最後の 2 つの手順を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。


電話機ユーザーが通話を終了するとトーンが鳴り、ディスプレイに「コールしゅうりょう」と表示されます。




6.5.2

連絡先リストを使用した電話通話の発信



下記の手順に従って、連絡先リストを使用して無線機で通話を発信します。

- 1 を押してメニューにアクセスします。

- 2 または を押して「れんらくさき」に移動します。を押して選択します。

ディスプレイにアルファベット順でエントリが表示されます。

- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。 **[OK]** を押して選択します。

選択したエントリが空の場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「**つうわむこうなばんごう**」と表示されます。

-
- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して「**つうわ**」に移動します。 **[OK]** を押して選択します。

アクセス コードが事前に設定されていない場合、ディスプレイに「**アクセスコード:**」と表示されます。

-
- 5 アクセス コードを入力し、 **[OK]** を押して先に進みます。

テキスト行の 1 行目に「**よびだしちゅう**」と表示されます。ディスプレイの 2 行目に無線機のエイリアスまたは ID と、**[電話]** アイコンが表示されます。通話に成功した場合:

- DTMF トーンが鳴ります。
- 電話機ユーザーのダイアル トーンが聞こえます。

- テキスト行の 1 行目に無線機のエイリアスまたは ID と、**[RSSI]** アイコンが表示されます。
- テキスト行の 2 行目に「**でんわ**」と、**[電話]** アイコンが表示されます。

通話に失敗した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「**でんわ NG**」と表示されてから、「**アクセスコード:**」と表示されます。
- アクセス コードが連絡先リストで事前に設定されている場合、通話を開始する前の画面に戻ります。


-
- 6 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。**[RSSI]** アイコンが消えます。


-
- 7 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

-
- 8 通話中に追加の数字を入力する必要がある場合、 **[OK]** を押して先に進みます。

通話中に必要な追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、通話を開始する前の画面に戻ります。

DTMF トーンが鳴ります。前の画面に戻ります。

9 通話を終了するには、 を押します。

10 ディアアクセス コードが事前に設定されていない場合は、ディスプレイに「ディアアクセスコード:」と表示されたらディアアクセス コードを入力し、 を押し、先に進みます。

前の画面に戻ります。DTMF トーンが鳴り、ディスプレイに「でんわせつだん」と表示されます。通話が正常に終了した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「コールしゅうりょう」と表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。[ステップ 9](#)と[ステップ 10](#)を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。電話連絡先画面で **PTT** ボタンを押すと、トーンが鳴り、ディスプレイに「コール >OK」と表示されません。

電話機ユーザーが通話を終了するとトーンが鳴り、ディスプレイに「でんわしゅうりょう」と表示されます。

電話通話でリクエストされた追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、その通話を開始する前の画面に戻ります。

6.5.3



エイリアス検索を使用した電話通話の発信


下記の手順に従って、エイリアス検索を使用して無線機で通話を発信します。

エイリアスや英数字検索を使用して、必要な無線機のエイリアスを取得することもできます。この機能は、[れんらくさき]のみに適用されます。



注記:

エイリアス検索を終了するには、 ボタンまたは  を押します。

1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 **◀P2** または **P3▶** を押して「れんらくさき」に移動します。**☎OK** を押して選択します。

ディスプレイにアルファベット順でエントリが表示されます。

- 3 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。

ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。

- 4 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。

エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されます。同じ名前前のエントリが2つ以上ある場合、リストの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。

テキスト行の1行目に入力した文字が表示されます。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表示されます。

- 5 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに宛先 ID、通話タイプ、電話 アイコンが表示されます。

- 6 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

- 7 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。宛先のエイリアスが表示されます。

- 8 **📞** チャネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。ディスプレイに「コールしゅうりょう」と表示されます。

6.5.4

ダイアルを使用した電話通話の発信 **📞**

下記の手順に従って、ダイアルを使用して無線機で通話を発信します。

- 1 **☎OK** を押してメニューにアクセスします。

- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して「れんらくさき」に移動します。**[OK]** を押して選択します。

エントリはアルファベット順にソートされます。

- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して「ダイヤル」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
-

- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して「ばんごう」に移動します。**[OK]** を押して選択します。

ディスプレイに「ばんごう:」と表示され、カーソルが点滅します。

- 5 電話番号を入力し、**[OK]** を押して先に進みます。

アクセスコードが事前に設定されていない場合、ディスプレイに「アクセスコード:」と表示され、カーソルが点滅します。

- 6 アクセスコードを入力し、**[OK]** を押して先に進みます。
-

- 7 緑色の LED が点灯します。ディスプレイの右上隅に【電話】アイコンが表示されます。テキスト行の 1

行目に無線機のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に通話ステータスが表示されます。

通話に成功した場合:

- DTMF トーンが鳴ります。
- 電話機ユーザーのダイヤル トーンが聞こえます。
- テキスト行の 1 行目に無線機のエイリアスが表示されます。


- ディスプレイの右上隅に【電話】アイコンが引き続き表示されます。

通話に失敗した場合:

- トーンが鳴ります。
 - ディスプレイに「でんわ NG」と表示されてから、「アクセスコード:」と表示されます。
 - アクセスコードが連絡先リストで事前に設定されている場合、通話を開始する前の画面に戻りません。
-


- 8 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。
-

- 9 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。
-


- 10 通話中に追加の数字を入力する必要がある場合、 を押して先に進みます。

通話中に必要な追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、通話を開始する前の画面に戻ります。

DTMF トーンが鳴ります。前の画面に戻ります。

- 11 通話を終了するには、 を押します。

- 12 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ディアアクセス コードが事前に設定されていない場合は、ディスプレイに【ディアアクセスコード:】と表示されたらディアアクセス コードを入力し、 を押して先に進みます。前の画面に戻ります。
- プログラムされた【ワンタッチ アクセス】ボタンを押します。ワンタッチ アクセス ボタンのエントリが空の場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

DTMF トーンが鳴り、ディスプレイに【でんわせつだん】と表示されます。
通話が正常に終了した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに【コールしゅうりょう】と表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。**ステップ 11** を繰り返します (または電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます)。

6.5.5


個別コールとして電話通話への応答

下記の手順に従って、無線機で個別コール通話に応答します。

個別コール通話を受信した場合:

- ディスプレイの右上隅に【電話】アイコンが表示されます。
- ディスプレイに発信者のエイリアスまたは【でんわ】が表示されます。

- 1 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

- 2 通話を終了するには、を押します。

ディスプレイに「でんわせつだん」と表示されます。
通話が正常に終了した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「コールしゅうりょう」と表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。この手順を繰り返してコールを完了します(または、電話のユーザーがコールを完了するまで待ちます)。

6.5.6

グループ コールとして電話通話への応答



下記の手順に従って、無線機でグループ コール通話に応答します。


グループ コール通話を受信した場合:

- ディスプレイの右上隅に「電話」アイコンが表示されます。

- ディスプレイにグループのエイリアスと「でんわ」が表示されます。

無線機で無線通話機能が有効になっていない場合、ディスプレイの最初の行に「りようふか」と表示され、無線機によって通話がミュートされます。通話が終了すると、前の画面に戻ります。

- 1 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

- 2 通話を終了するには、を押します。

ディスプレイに「でんわせつだん」と表示されます。
通話が正常に終了した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「コールしゅうりょう」と表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。この手順を繰り返してコールを完了します(または、電話のユーザーがコールを完了するまで待ちます)。

6.5.7

一斉コールとして電話通話への応答


一斉コール通話を受信した場合は、一斉コールタイプがチャンネルに割り当てられている場合にのみ、通話の応答や終了が可能です。下記の手順に従って、無線機で一斉コール通話に応答します。

一斉コール通話を受信した場合:

- ディスプレイの右上隅に【電話】アイコンが表示されません。
- ディスプレイに【いっせいコール】と【でんわ】が表示されます。

1 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

2 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

3 通話を終了するには、 を押します。

ディスプレイに【でんわせつだん】と表示されます。
通話が正常に終了した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに【いっせいコール】と【コールしゅうりょう】が表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。**ステップ 3** を繰り返します (または電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます)。

6.6

通話割り込みの開始

次の操作を実行すると、進行中の通話が中断されません。

- 音声 **PTT** ボタンを押します。
- 緊急ボタンを押します。
- データ送信を実行します。
- プログラムされた **TX** リモート送信解除 ボタンを押します。

受信者の無線機に【つうわ わりこみ】と表示されます。

6.7

ブロードキャスト音声通話

ブロードキャスト音声通話は、ユーザーからグループ全体に対する一方向の音声通話です。

ブロードキャスト音声通話機能では、通話を開始したユーザーのみがグループへ送信でき、通話の受信者は応答できません (コール ハング タイムなし)。

この機能を使用するには、無線機をプログラムする必要があります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

6.7.1

ブロードキャスト音声通話の発信

ブロードキャスト音声通話を行うように無線機をプログラムします。

- 1 アクティブなグループのエイリアスまたは ID のチャンネルを選択します。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに [ブロードキャスト コール]、[グループ コール] アイコン

とエイリアスが表示されます。ディスプレイに [グループ通話] アイコンとエイリアスが表示されます。

- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。



注記:

チャンネルのユーザーは、ブロードキャスト音声通話には応答できません。

通話が終了すると、前のメニューに戻ります。

6.7.2

プログラム可能な数値キーを使用したブロードキャスト音声通話の発信

下記の手順に従って、プログラム可能な数値キーを使用して無線機でブロードキャスト音声通話を発信します。

- 1 **【ホーム】**画面で、事前に定義されたエイリアスまたはIDに割り当てられたプログラム済みの数値キーを長押しします。

数値キーが特定のモードのエントリに割り当てられている場合、別のモードで数値キーを長く押ししても、この機能は使用できません。

数値キーがエントリに割り当てられていない場合、ネガティブインジケータトーンが鳴ります。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色のLEDが点灯します。テキスト行の1行目に無線機のエイリアスが表示されます。テキスト行の2行目に通話ステータスが表示されます。

詳細については、[プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て ページ 89](#) を参照してください。



6.7.3


エイリアス検索を使用したブロードキャスト音声通話の発信




エイリアスや英数字検索を使用して、必要な無線機のエイリアスを取得することもできます。この機能は、[れんらくさき]のみに適用されます。



注記:

エイリアス検索を終了するには、 ボタンまたは  を押します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して [れんらくさき] に移動します。  を押して選択します。

ディスプレイにアルファベット順でエントリが表示されます。

- 3 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。

ディスプレイに表示されているカーソルが点滅しません。

- 4 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。

エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されません。同じ名前のエントリが2つ以上ある場合、リストの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。

テキスト行の1行目に入力した文字が表示されません。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表示されます。

5 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに宛先 ID、通話タイプ、【グループ コール】アイコンが表示されます。

6 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

チャンネルのユーザーは、ブロードキャスト音声通話に応答できません。

通話が終了すると、前のメニューに戻ります。

- トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。
- ディスプレイの右上隅に、発信者の ID 情報が表示されます。
- テキスト行の1行目に、【グループ コール】アイコンと【ブロードキャスト コール】が表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

通話が正常すると、無線機は前の画面に戻ります。

ブロードキャスト音声通話の場合、事前に定めた終了前の待機時間は適用されません。

ブロードキャスト音声通話には応答できません。

6.7.4

ブロードキャスト音声通話の受信

ブロードキャスト音声通話を受信した場合:

64



注記:

通話を受信中に別のチャンネルに切り替える場合、無線機はブロードキャスト音声通話の受信を停止します。ブロードキャスト音声通話が終了するまで、メニューナビゲーションや編集を続行することはできません。

6.8

未アドレス通話

未アドレス通話とは、事前に定義された 16 のグループ ID のいずれかに対するグループ通話です。

この機能は CPS-RM を使用して設定されます。未アドレス通話を開始または受信するには、事前定義された ID のいずれかの連絡先が必要です。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

6.8.1

未アドレス通話の発信

- 1 アクティブなグループのエイリアス（名称）または ID のチャンネルを選択します。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。
緑色の LED が点灯します。

- 3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。
相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。瞬間トーンが鳴ります。

- 4 チャンネルフリー指示機能が有効な場合、送信無線機で **[PTT]** ボタンが放された瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示します。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。
音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

6.8.2

未アドレス通話への応答

宛先なしコールを受信した場合:

- 緑色の LED が点滅します。
- 瞬間トーンが鳴ります。

- テキスト行に、[みアドレスつうわ]、[グループ コール] アイコン、およびエイリアスが表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が [PTT] ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、PTT ボタンを押します。
- 音声割り込み機能が有効になっている場合、[PTT] ボタンを押して送信側無線機から音声に割り込んで、応答できるようにそのチャンネルを解放します。

緑色の LED が点灯します。

2 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- PTT サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

3 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

6.9

オープン音声チャンネル モード (OVCM)

オープン音声チャンネル モード (OVCM) を使用すると、特定のシステムで動作するように事前に設定されていない無線機で、グループ通話または個別通話中に受信と送信の両方を行うことができます。

OVCM グループ通話はブロードキャスト コールにも対応しています。この機能を使用するように無線機をプログラムします。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

6.9.1

OVCM コールの発信

OVCM コールを発信するには無線機をプログラムする必要があります。下記の手順に従って、無線機で OVCM コールを発信します。

1 アクティブなグループのエイリアスまたは ID のチャンネルを選択します。

2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。
テキスト行に、通話タイプのアイコン、OVCM およびエイリアスが表示されます。無線機が OVCM 状態に入ったことを示します。

3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
 - **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。
-

6.9.2

OVCM コールへの応答

OVCM コールを受信した場合:

- 緑色の LED が点滅します。
- テキスト行には、通話タイプのアイコン、OVCM、エイリアスが表示されます。

- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **[PTT]** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。
- 音声割り込み機能が有効になっている場合、**[PTT]** ボタンを押して送信側無線機から音声に割り込んで、応答できるようにそのチャンネルを解放します。

緑色の LED が点灯します。

2 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
 - **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。
-

3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

高度な機能

この章では、無線機で使用できる機能の操作について説明します。

ディーラーやシステム管理者が、特定のニーズのために無線機をカスタマイズしている可能性もあります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

7.1

ダイレクトモード

この機能を使用すれば、リピータが作動していない場合や、お使いの無線機がリピータの圏外にある場合でも、通話範囲内にある他の無線機との通信を継続できます。

ダイレクトモード設定は、電源を切った後も保持されます。




注記:




この機能は Capacity Plus では利用不可です。




7.1.1




リピータとダイレクトモードの切り替え

下記の手順に従って、無線機でリピータとダイレクトモードを切り替えます。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【リピータ/ダイレクト】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して【せってい】に移動します。 を押して選択します。

- 3  または  を押して【きのうせってい】に移動します。 を押して選択します。

- 4  または  を押して【ダイレクトモード】に移動します。 を押して選択します。

有効にすると、✓ が【ゆうこう】の隣に表示されます。

無効な場合、✓ が【ゆうこう】の隣で非表示になります。

前の画面に自動的に戻ります。

7.2 連続モニタ

連続モニタを使用して、選択したチャンネルのアクティビティを継続的にモニタできます。



注記:
この機能は Capacity Plus では利用不可です。

7.2.1 連続モニタのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機で連続モニタのオンとオフを切り替えます。

プログラムされた [連続モニタ] ボタンを押します。

無線機が本モードに入ると:

- 警告トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が点灯します。
- ディスプレイに [れんぞくモニタ オン] と [モニタ] アイコンが表示されます。

無線機が本モードを終了すると:

- 警告トーンが鳴ります。
- 黄色の LED がオフになります。

- ディスプレイに [れんぞくモニタ オフ] と表示されます。

7.3 ホーム チャンネル リマインダ

これは、無線機が一定期間ホーム チャンネルにセットされていない場合に通知を出す機能です。

CPS を使用してこの機能を有効にしている場合は、無線機がホーム チャンネルに設定されていないと、以下の動作が定期的に繰り返されます。

- ホーム チャンネル リマインダ トーンが鳴り、音声ガイドが聞こえます。
- ディスプレイの 1 行目に [ノン] と表示されます。
- 2 行目に [ホーム チャンネル] と表示されます。

次のいずれかの操作を実行して、この通知に応答できます。

- ホーム チャンネルに戻る。
- プログラム可能ボタンを使用して、通知を一時的にミュートする。
- プログラム可能ボタンを使用して、新しいホーム チャンネルを設定する。

7.3.1

ホームチャンネルリマインダのミュート

ホームチャンネルリマインダが鳴った場合に、リマインダを一時的にミュートできます。


プログラムされたホームチャンネルリマインダのミュートボタンを押します。




ディスプレイに「HCR サイレンス」と表示されます。




7.3.2




新しいホームチャンネルの設定




ホームチャンネルリマインダが通知された場合は、新しいホームチャンネルをセットできます。

- 1 以下のいずれか1つの手順を実行します。
 - ホームチャンネルのリセットプログラム可能ボタンを押して、現在のチャンネルをホームチャンネルとしてセットします。以下の手順をスキップします。
ディスプレイの1行目にチャンネルエイリアス、2行目に「しん ホーム Ch」が表示されます。
 -  を押してメニューにアクセスします。

2  または  を押して「せってい」に移動します。 を押して選択します。

3  または  を押して「きのうせってい」に移動します。 を押して選択します。

4  または  を押して「ホームチャンネル」に移動します。 を押して選択します。

5  または  を押して、目的の新しいホームチャンネルのエイリアスに移動します。 を押して選択します。

ディスプレイには、選択したチャンネルエイリアスの横に ✓ が表示されます。

7.4

無線機チェック




この機能を使用すると、システム内の他の無線機がアクティブであるかどうかを、無線機のユーザーを呼び出さずに判断できます。ターゲットの無線機には、音声や映像による通知は行われません。この機能は、無線機のエイリアス

または ID にのみ適用されます。この機能を使用するには、無線機をプログラムする必要があります。

7.4.1


無線機チェックの送信

下記の手順に従って、無線機で無線機チェックを送信します。

- 1 プログラムされた【無線機チェック】ボタンを押します。
- 2  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。

確認応答を待ちます。

無線機が承認待ちのときに  を押すと、トーンが鳴り、無線機はすべての試行を強制終了し、無線機チェックモードを終了します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。








正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
 - ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
- 無線機のエイリアスまたは ID の画面に戻ります。

7.4.2

連絡先リストを使用して無線機チェックを送信する

下記の手順に従って、連絡先リストを使用して、無線機で無線機チェックを送信します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して【れんらくさき】に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して『むせんチェック』に移動します。 **[OK]** を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色のLEDが点灯します。

- 5 確認応答を待ちます。

無線機が承認待ちのときに **[OK]** を押すと、トーンが鳴り、無線機はすべての試行を強制終了し、無線機チェックモードを終了します。

正常に行われた場合:

- ポジティブインジケータトーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブインジケータトーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブミニ通知が表示されます。

無線機のエイリアスまたはIDの画面に戻ります。

7.4.3

ダイアルを使用した無線機チェックの送信

下記の手順に従って、ダイアルを使用して、無線機で無線機チェックを送信します。

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して『れんらくさき』に移動します。 **[OK]** を押して選択します。

- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して『ダイアル』に移動します。 **[OK]** を押して選択します。

- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して『むせんきばんごう』に移動します。 **[OK]** を押して選択します。

- 5 以下のいずれか1つの手順を実行します。

- 無線機のエイリアスまたはIDを入力し、**[OK]** を押して処理を続行します。
- 以前にダイアルしたIDを編集し、**[OK]** を押して処理を続行します。

- 6 **[P2]** または **[P3]** を押して『むせんチェック』に移動します。 **[OK]** を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色のLEDが点灯します。

- 7 確認応答を待ちます。

無線機が承認待ちのときに **[OK]** を押すと、トーンが鳴り、無線機はすべての試行を強制終了し、無線機チェックモードを終了します。

正常に行われた場合:

- ポジティブインジケータトーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブインジケータトーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブミニ通知が表示されます。

無線機のエイリアスまたはIDの画面に戻ります。

7.5

リモートモニタ

この機能を使用して、無線機のIDでターゲットの無線機のマイクをオンにします。この機能を使用することで、ターゲット無線機の周りのあらゆる音声アクティビティをリモートでモニタできます。

リモートモニタには2種類あります。

- 認証を使用しないリモートモニタ
- 認証を使用するリモートモニタ

認証を伴うリモートモニタは、購入可能な機能です。認証を伴うリモートモニタでは、無線機でターゲットの無線機のマイクをオンにする際に検証が必要です。

無線機で、ユーザー認証を使用してターゲットの無線機に対してこの機能を開始する場合、パズフレーズが必要です。パズフレーズは、CPSを使用して、ターゲットの無線機に事前にプログラムしておきます。

この機能を使用するには、お使いの無線機とターゲット無線機の両方をプログラムする必要があります。

この機能は、プログラムされた期間の経過後、または相手の無線機でユーザーが何らかの操作を実行したときに、停止します。

7.5.1

リモート モニタの開始












下記の手順に従って、無線機でリモート モニタを開始します。

- 1 プログラムされた [リモート モニタ] ボタンを押します。
- 2 確認応答を待ちます。
正常に行われた場合:
 - ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。正常に行われなかった場合:
 - ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

7.5.2

連絡先リストを使用したリモート モニタの開始

下記の手順に従って、連絡先リストを使用して無線機でリモート モニタを開始します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [れんらくさき] に移動します。 を押して選択します。
- 3  または  を押して必要なエリアまたは ID に移動します。 を押して選択します。
- 4  または  を押して [リモート モニタ] に移動します。
- 5  を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。
 - ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。
 - パスフレーズ画面が表示されます。
パスフレーズを入力します。 を押して次の操作へ進みます。
 - パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。

- ・ パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。

6 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:













- ・ ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ・ ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- ・ プログラムされた長さの間、モニタ対象の無線機から音声の再生が開始され、ディスプレイに「きょうせいモニタ」と表示されます。タイマーの期限が切れると、警告トーンが鳴り、LED が消灯します。

正常に行われなかった場合:

- ・ ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ・ ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

ダイアルを使用したリモート モニタの開始

下記の手順に従って、ダイアルを使用して無線機でリモート モニタを開始します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して「れんらくさき」に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して「ダイアル」に移動します。  を押して選択します。
- 4  または  を押して「むせんきばんごう」に移動します。  を押して選択します。
- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - ・ 無線機のエイリアスまたは ID を入力し、 を押して処理を続行します。
 - ・ 以前にダイアルした ID を編集し、 を押して処理を続行します。

6 **◀P2** または **▶P3** を押して [リモート モニタ] に移動します。

7 **OK** を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。

- ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色のLEDが点灯します。
- パスフレーズ画面が表示されます。

パスフレーズを入力します。**OK** を押して次の操作へ進みます。

- パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色のLEDが点灯します。
 - パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。
-

8 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- プログラムされた長さの間、モニタ対象の無線機から音声の再生が開始され、ディスプレイに [きょうせいモニタ] と表示されます。タイマーの期限が切れると、警告トーンが鳴り、LED が消灯します。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
 - ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
-

7.6

スキャン リスト

スキャン リストは、個別チャネルまたはグループに対して作成され、割り当てられます。無線機は、現在のチャネルまたはグループのスキャン リストで指定されたチャネルまたはグループ系列を循環して、音声アクティビティをスキャンします。

無線機では、最大 250 のスキャン リストを使用できます。リスト内の最大メンバー数は 16 です。

各スキャン リストには、アナログとデジタルの両方のエントリーを混在させることができます。

スキャン リストを編集して、チャンネルの追加や削除、優先順位付けが可能です。

正面パネル プログラミングから、新しいスキャン リストを無線機に追加できます。詳細については、「[正面パネル プログラミング ページ 139](#)」を参照してください。

メンバーに優先度が設定されている場合は、メンバーのエイリアスの左側に【優先度】アイコンが表示され、優先度 1 と優先度 2 のどちらのチャンネル リストに属しているかが示されます。スキャン リストに複数の優先度 1 または優先度 2 チャンネルを含めることはできません。優先度を【なし】に設定すると、【優先度】アイコンは表示されません。



注記:

この機能は、Capacity Plus では利用できません。

7.6.1

スキャン リスト内のエントリーの表示

下記の手順に従って、無線機でスキャン リストのエントリーを表示します。

- 1 を押してメニューにアクセスします。

- 2 または を押して【スキャン】に移動します。 を押して選択します。

- 3 または を押して【リストへんしゅう】に移動します。 を押して選択します。

- 4 または を使用して、リストにある各メンバーを表示します。

7.6.2

エイリアス検索を使用したスキャン リスト内のエントリーの表示

下記の手順に従って、エイリアス検索を使用して無線機でスキャン リストのエントリーを表示します。

- 1 を押してメニューにアクセスします。

- 2 または を押して【スキャン】に移動します。 を押して選択します。

- 3 または を押して【スキャン リスト】に移動します。 を押して選択します。

4 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。
ディスプレイに表示されているカーソルが点滅し
ます。





5 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。
エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されま
す。同じ名前のエントリが2つ以上ある場合、リス
トの最初に記載されたエントリがディスプレイに表
示されます。




テキスト行の1行目に入力した文字が表示されま
す。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表
示されます。




7.6.3




スキャン リストへの新規エントリの追加




下記の手順に従って、無線機でスキャン リストに新規エン
トリを追加します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
 - 2  または  を押して「スキャン」に移動しま
す。  を押して選択します。
-

3  または  を押して「リストへんしゅう」に移
動します。  を押して選択します。







4  または  を押して「メンバーつか」に移動
します。  を押して選択します。

5  または  を押して必要なエイリアスまたは
ID に移動します。  を押して選択します。

6  または  を押して必要な優先度に移動しま
す。  を押して選択します。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されてか
ら、「つか?」と表示されます。


7 以下のいずれか1つの手順を実行します。




- 別のエントリを追加するには、  または  を押して「はい」に移動します。  を押して選
択します。 **ステップ5**と **ステップ6**を繰り返しま
す。
 - 現在のリストを保存するには、  または  を押して「いいえ」に移動します。  を押して
選択します。
-




7.6.4




エイリアス検索を使用したスキャン リストへの新規エントリの追加 

下記の手順に従って、エイリアス検索を使用して無線機でスキャン リストに新規エントリを追加します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して「スキャン」に移動します。 を押して選択します。

- 3  または  を押して「スキャン リスト」に移動します。 を押して選択します。


- 4  または  を押して「メンバーつかい」に移動します。 を押して選択します。




- 5 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。
ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。




- 6 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。

エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されません。同じ名前のエントリが2つ以上ある場合、リストの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。

テキスト行の1行目に入力した文字が表示されます。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表示されます。

- 7  を押して選択します。

- 8  または  を押して必要な優先度に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されてから、「つかい?」と表示されます。

- 9 以下のいずれか1つの手順を実行します。
 - 別のエントリを追加するには、 または  を押して「はい」に移動します。 を押して選択します。手順 [ステップ 5](#) から手順 [ステップ 8](#) を繰り返します。

- 現在のリストを保存するには、**◀P2** または **P3▶** を押して『いいえ』に移動します。**ⓂOK** を押して選択します。
-

7.6.5

スキャン リストからのエントリの削除

下記の手順に従って、スキャン リストからエントリを削除します。

- ⓂOK** を押してメニューにアクセスします。
 - ◀P2** または **P3▶** を押して『スキャン』に移動します。**ⓂOK** を押して選択します。
 - ◀P2** または **P3▶** を押して『リストへんしゅう』に移動します。**ⓂOK** を押して選択します。
 - ◀P2** または **P3▶** を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。**ⓂOK** を押して選択します。
-

- ◀P2** または **P3▶** を押して『さくじょ』に移動します。**ⓂOK** を押して選択します。

ディスプレイに『エントリをさくじょ?』と表示されます。

- 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- エントリを削除するには、**◀P2** または **P3▶** を押して『はい』に移動します。**ⓂOK** を押して選択します。ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
 - 前の画面に戻るには、**◀P2** または **P3▶** を押して『いいえ』に移動します。**ⓂOK** を押して選択します。
-

- ステップ 4** から **ステップ 6** を繰り返して、他のエントリを削除します。
-

- すべての必要なエイリアスまたは ID を削除したら、**ⓂHome** を長押ししてホーム画面に戻ります。
-

7.6.6

エイリアス検索を使用したスキャン リストからのエントリの削除

下記の手順に従って、エイリアス検索を使用して無線機でスキャンリストからエントリを削除します。


- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して「スキャン」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して「スキャン リスト」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
- 4 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。
ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。
- 5 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。
エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されます。同じ名前前のエントリが2つ以上ある場合、リス

トの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。

テキスト行の1行目に入力した文字が表示されません。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表示されます。

- 6 **[OK]** を押して選択します。
- 7 **[P2]** または **[P3]** を押して「さくじょ」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
ディスプレイに「エントリをさくじょ?」と表示されます。
- 8 以下のいずれか1つの手順を実行します。
 - エントリを削除するには、**[P2]** または **[P3]** を押して「はい」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
 - 前の画面に戻るには、**[P2]** または **[P3]** を押して「いいえ」に移動します。**[OK]** を押して選択します。


9 ステップ4 から ステップ7 を繰り返して、他のエントリを削除します。




10 すべての必要なエイリアスまたは ID を削除したら、 を長押ししてホーム画面に戻ります。




7.6.7




スキャンリストのエントリに対して優先度を設定する




下記の手順に従って、無線機でスキャンリストのエントリに優先度を設定します。




- 1  を押してメニューにアクセスします。

 - 2  または  を押して『スキャン』に移動します。 を押して選択します。

 - 3  または  を押して『リストへんしゅう』に移動します。 を押して選択します。

 - 4  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。 を押して選択します。
-

5  または  を押して『ゆうせんど』に移動します。 を押して選択します。


6  または  を押して必要な優先度に移動します。 を押して選択します。




ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示された後、前の画面に戻ります。【優先度】アイコンは、メニューのエリアスの左側に表示されます。




7.6.8

エイリアス検索を使用してスキャンリストのエントリに対して優先度を設定する

下記の手順に従って、エイリアス検索を使用して、無線機でスキャンリストのエントリに対して優先度を設定します。


- 1  を押してメニューにアクセスします。




 - 2  または  を押して『スキャン』に移動します。 を押して選択します。
-




- 3  または  を押して [スキャン リスト] に移動します。  を押して選択します。

- 4 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。
ディスプレイに表示されているカーソルが点滅し
ます。

- 5 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。
エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されま
す。同じ名前のエントリが 2 つ以上ある場合、リス
トの最初に記載されたエントリがディスプレイに表
示されます。
テキスト行の 1 行目に入力した文字が表示されま
す。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表
示されます。

- 6  を押して選択します。

- 7  または  を押して [ゆうせんど] に移動しま
す。  を押して選択します。

- 8  または  を押して必要な優先度に移動しま
す。  を押して選択します。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示された
後、前の画面に戻ります。[優先度] アイコンは、メン
バーのエイリアスの左側に表示されます。

7.7

スキャン

スキャンを開始すると、無線機は現在のチャンネルのプログ
ラム スキャン リストを循環して、音声アクティビティを検
索します。



注記:

この機能は、Capacity Plus では利用できません。

デジタル チャンネルをお使いの場合、デュアルモード スキャ
ン中は、無線機はアナログ チャンネルにロックされます。通
話中は、デジタル モードからアナログ モードに自動的に切
り替わります。逆もまた同じです。

スキャンを開始するには 2 通りの方法があります。

メイン チャンネル スキャン (マニュアル)

無線機は、スキャン リストにあるすべてのチャンネルまた
はグループをスキャンします。設定しだいで、自動的
に、最後にスキャンしたアクティブなチャンネルまたはグ

ループのスキャンから開始されることも、スキャンの開始時に使用していたチャンネルからスキャンが開始されることもあります。

自動スキャン (自動)

自動スキャンが有効になっているチャンネルまたはグループを選択すると、無線機が自動的にスキャンを開始します。



注記:

スキャンでグループメッセージを受信するを設定すると、無線機はホーム以外のチャンネルからグループメッセージを受信できるようになります。無線機は、ホームチャンネルのグループメッセージには返信できませんが、ホーム以外のチャンネルでは返信できません。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

7.7.1

スキャンのオンとオフの切り替え


下記の手順に従って、無線機でスキャンのオンとオフを切り替えます。












注記:

スキャン中、無線機は選択されたチャンネルから送信されるデータ(テキストメッセージ、位置情報、PCデータなど)の受信のみを行います。

- 以下のいずれか1つの手順を実行します。
 - プログラムされた【スキャン】ボタンを押して、スキャンを開始または停止します。以下の手順をスキップします。
 - スキャンリストでチャンネルを選択します。

-  を押してメニューにアクセスします。

-  または  を押して【スキャン】に移動します。 を押して選択します。

- 以下のいずれか1つの手順を実行します。
 -  または  を押して【オン】に移動します。 を押して選択します。
 -  または  を押して【オフ】に移動します。 を押して選択します。

スキャンが有効になっている場合:

- ディスプレイに「[スキャン オン]」と「[スキャン]」アイコンが表示されます。

- 黄色の LED が点滅します。

スキャンが無効になっている場合:

- ディスプレイに「[スキャン オフ]」と表示されます。


- 「[スキャン]」アイコンが消えます。

- LED がオフになります。

7.7.2


スキャン中の送信への応答

スキャン中、無線機はアクティビティが検知されたチャンネルまたはグループで停止します。無線機は、ハング タイムと呼ばれるプログラムされた時間だけそのチャンネルに留まります。下記の手順に従って、スキャン中に送信に応答します。

- 1  チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が PTT ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。ハング タイム中に PTT ボタンを押します。

緑色の LED が点灯します。

- 2 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
-  PTT サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

- 3 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

ハング タイム中に応答しないと、無線機は他のチャンネルまたはグループのスキャンに戻ります。

7.7.3

迷惑チャンネルの削除

チャンネルで不要な通話やノイズ ("迷惑" チャンネルと称する) が発生し続ける場合、その不要なチャンネルをスキャン リストから一時的に削除できます。この機能は、選択チャンネルとして指定されているチャンネルには適用されません。下記の手順に従って、無線機で迷惑チャンネルを削除します。

- 1 無線機が不要なチャンネル、つまり迷惑チャンネルにロックされているときに、プログラムされた [迷惑チャンネル削除] ボタンをトーンが鳴るまで押します。

- 2 プログラムされた [迷惑チャンネル削除] ボタンを放します。

迷惑チャンネルが削除されます。

7.7.4

迷惑チャンネルの復元

下記の手順に従って、無線機で迷惑チャンネルを復元します。

以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 無線機の電源を切り、もう一度電源を入れます。
- チャンネル アップ/チャンネル ダウン ボタンを使用してチャンネルを変更します。

7.8

投票スキャン



投票スキャン機能は、複数の基地局がさまざまなアナログチャンネルで同じ情報を送信している領域を幅広くカバーするための機能です。

無線機は、複数の基地局のアナログチャンネルをスキャンし、投票プロセスを実行して最大強度の受信信号を選択しま

す。これがいったん確立されると、その基地局からの送信を受信します。

投票スキャンの実行時に、黄色の LED が点滅し、[投票スキャン] アイコンが表示されます。

投票スキャン中に送信に応答するには、「[スキャン中の送信への応答 ページ 86](#)」を参照してください。

7.9

連絡先設定

連絡先は、無線機でアドレス帳として機能します。各エントリは、通話を開始するとき使用するエイリアスまたは ID に対応します。エントリはアルファベット順にソートされます。

各エントリは、コンテキストに応じて、次のような別々の通話タイプに関連づけられています。グループコール、個別コール、一斉コール、PC コール、ディスパッチコール。

PC コールとディスパッチ コールはデータ関連です。これらはアプリケーションで使用する場合にのみ利用できます。詳細については、データ アプリケーションのマニュアルを参照してください。

④ その他、[れんらくさき] メニューでは、各エントリを 1 つのプログラミング可能な数値キーに、複数のエントリをキーパッド マイクに割り当てることができます。1 つの工

ントリが1つの数値キーに割り当てられている場合は、そのエントリに対してクイックダイヤルを実行できます。



注記:

各エントリに割り当てられる数値キーの前にチェックマークが表示されます。チェックマークが「なし」の前にある場合、その数値キーはエントリに割り当てられていません。

無線機では、アナログ連絡先とデジタル連絡先の2つの連絡先リストを使用できます。各連絡先リストは最大で500メンバーです。

連絡先の各エントリには、以下の情報が表示されます。

- [通話タイプ]
- 通話エイリアス
- [通話ID]



注記:

デジタル連絡先リストの無線機IDの追加または編集を行うことができます。無線機IDの削除は、ディーラーのみが実行できます。

アナログ連絡先リストでは、無線機IDの追加または編集とページングを行うことができます。無線機IDの追加および削除は、ディーラーのみが実行できます。

あるチャンネルで秘話モード機能が有効であれば、そのチャンネルで、秘話モード対応のグループコール、個別コール、および一斉コールを発信することができます。お使いの無線機と同一のプライバシーキー、または同じキー値とキーIDを有する相手先無線機のみが、送信を復号できます。

7.9.1

新規連絡先の追加

下記の手順に従って、無線機で新規連絡先を追加します。

- 1 を押してメニューにアクセスします。
- 2 または を押して「れんらくさき」に移動します。 を押して選択します。

3 **◀P2** または **P3▶** を押して『しんき とうろく』に移動します。**ⓂOK** を押して選択します。

4 **◀P2** または **P3▶** を押して、連絡先タイプを『むせん リスト』または『電話 リスト』から選択します。**ⓂOK** を押して選択します。

5 キーパッドを使用して連絡先番号を入力し、**ⓂOK** を押して先に進みます。

6 キーパッドを使用して連絡先名を入力し、**ⓂOK** を押して先に進みます。

7 **◀P2** または **P3▶** を押して必要な着信音タイプに移動します。**ⓂOK** を押して選択します。

ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

7.9.2

既定の連絡先の設定

下記の手順に従って、無線機で既定の連絡先を設定します。

1 **ⓂOK** を押してメニューにアクセスします。

2 **◀P2** または **P3▶** を押して『れんらくさき』に移動します。**ⓂOK** を押して選択します。

3 **◀P2** または **P3▶** を押して必要なエイリアスまたはIDに移動します。**ⓂOK** を押して選択します。

4 **◀P2** または **P3▶** を押して『しよきちにセット』に移動します。**ⓂOK** を押して選択します。

ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。ディスプレイでは、選択した既定のエイリアスまたはIDの横に✓が表示されます。

7.9.3

プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て

1 **ⓂOK** を押してメニューにアクセスします。

2 **◀P2** または **▶P3** を押して [れんらくさき] に移動します。 **☑OK** を押して選択します。

3 **◀P2** または **▶P3** を押して必要なエリアまたは ID に移動します。 **☑OK** を押して選択します。

4 **◀P2** または **▶P3** を押して [キー プログラム] に移動します。 **☑OK** を押して選択します。

5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 目的の数値キーがエントリに割り当てられていない場合、 **◀P2** または **▶P3** を押して目的の数値キーに移動します。 **☑OK** を押して選択します。

- 目的の数値キーがエントリに割り当てられている場合、ディスプレイには [しようちゅうキー] と表示され、テキスト行の 1 行目に [うわがき?] と表示されます。以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

◀P2 または **▶P3** を押して [はい] に移動します。

☑OK を押して選択します。

無線機からはポジティブ インジケータ トーンが聞こえ、ディスプレイに [れんらくさきほぞんずみ] およびポジティブ ミニ通知が表示されます。

前の手順に戻るには、 **◀P2** または **▶P3** を押して [いいえ] に移動します。

7.9.4

エントリとプログラミング可能な数値キー間の関連付けの削除

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた数値キーを長押しして必要なエリアまたは ID に移動します。 [ステップ 4](#) に進みます。

- ☑OK** を押してメニューにアクセスします。

2 **◀P2** または **▶P3** を押して [れんらくさき] に移動します。 **☑OK** を押して選択します。

3 **◀P2** または **▶P3** を押して必要なエリアまたは ID に移動します。 **☑OK** を押して選択します。

4 **◀P2** または **▶P3** を押して [キー プログラム] に移動します。 **☑OK** を押して選択します。

- 5 **[P2]** または **[P3]** を押して「なし」に移動します。
[OK] を押して選択します。

テキスト行の 1 行目に、「ぜんキーからさくじょしますか」と表示されます。

- 6 **[P2]** または **[P3]** を押して「はい」に移動します。
[OK] を押して選択します。



注記:

エントリが削除されたら、エントリとそのプログラミングされた数値キー間の関連付けは、削除されます。

ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。ディスプレイに「れんらくさきほぞんずみ」と表示されます。
 前のメニューに自動的に戻ります。

7.10

通話インジケータ設定

この機能を使用すると、通話やテキスト メッセージの着信音を設定できます。


7.10.1

着信音のオンとオフの切り替え (ページング用)

- [OK]** を押してメニューにアクセスします。
- [P2]** または **[P3]** を押して「せってい」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
- [P2]** または **[P3]** を押して「きのうせってい」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
- [P2]** または **[P3]** を押して「トーン/アラート」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
- [P2]** または **[P3]** を押して「ちゃくしんおん」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
- [P2]** または **[P3]** を押して「ページング」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
- 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- **◀P2** または **▶P3** を押して必要なトーンに移動します。**☎OK** を押して選択します。ディスプレイに ✓ と選択したトーンが表示されます。
- **◀P2** または **▶P3** を押して「オフ」に移動します。**☎OK** を押して選択します。以前に着信音が有効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が「オフ」の隣に表示されます。以前に着信音が無効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が「オフ」の隣に表示されません。

7.10.2

着信音のオンとオフの切り替え (個別コール用) 

下記の手順に従って、無線機で個別コール受信時の着信音のオンとオフを切り替えます。

- 1 **☎OK** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **◀P2** または **▶P3** を押して「せってい」に移動します。**☎OK** を押して選択します。

3 **◀P2** または **▶P3** を押して「きのうせってい」に移動します。**☎OK** を押して選択します。

4 **◀P2** または **▶P3** を押して「トーン/アラート」に移動します。**☎OK** を押して選択します。

5 **◀P2** または **▶P3** を押して「ちゃくしんおん」に移動します。**☎OK** を押して選択します。

6 **◀P2** または **▶P3** を押して「こべつコール」に移動します。**☎OK** を押して選択します。

個別コールの着信音がオンの場合は、「オン」の隣に ✓ が表示されます。

個別コールの着信音がオフの場合は、「オフ」の隣に ✓ が表示されます。

7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- **◀P2** または **▶P3** を押して「オン」に移動します。**☎OK** を押して選択します。ディスプレイで ✓ が「オン」の隣に表示されます。

- **◀P2** または **P3▶** を押して「オフ」に移動します。
☎OK を押して選択します。ディスプレイで ✓ が「オフ」の隣に表示されます。
-

7.10.3

着信音のオンとオフの切り替え (選択コール用)

下記の手順に従って、無線機で選択コール受信時の着信音のオン/オフを切り替えます。

- 1 **☎OK** を押してメニューにアクセスします。

 - 2 **◀P2** または **P3▶** を押して「せってい」に移動します。
☎OK を押して選択します。

 - 3 **◀P2** または **P3▶** を押して「きのうせってい」に移動します。
☎OK を押して選択します。

 - 4 **◀P2** または **P3▶** を押して「トーンアラート」に移動します。
☎OK を押して選択します。
-

- 5 **◀P2** または **P3▶** を押して「ちやくしんおん」に移動します。
☎OK を押して選択します。
-


- 6 **◀P2** または **P3▶** を押して「せんたくコール」に移動します。
☎OK を押して選択します。

ディスプレイに ✓ と現在のトーンが表示されます。


- 7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。




- **◀P2** または **P3▶** を押して必要なトーンに移動します。
☎OK を押して選択します。
ディスプレイに ✓ と選択したトーンが表示されます。
 - **◀P2** または **P3▶** を押して「オフ」に移動します。
☎OK を押して選択します。
以前に着信音が有効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が「オフ」の隣に表示されます。
以前に着信音が無効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が「オフ」の隣に表示されません。
-




7.10.4




着信音のオンとオフの切り替え (テキストメッセージ用) 




下記の手順に従って、無線機でテキストメッセージ受信時の着信音のオン/オフを切り替えます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。







- 2  または  を押して「せってい」に移動します。 を押して選択します。

- 3  または  を押して「きのうせってい」に移動します。 を押して選択します。

- 4  または  を押して「トーン/アラート」に移動します。 を押して選択します。

- 5  または  を押して「ちゃくしんおん」に移動します。 を押して選択します。


- 6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  または  を押して必要なトーンに移動します。 を押して選択します。
ディスプレイに ✓ と選択したトーンが表示されます。
-  または  を押して「オフ」に移動します。 を押して選択します。
以前に着信音が有効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が「オフ」の隣に表示されます。
以前に着信音が無効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が「オフ」の隣に表示されません。

7.10.5

警告エスカレーション トーンのオンとオフの切り替え

無線機通話に応答がない状態が続くと継続的に警告を発するよう、無線機をプログラムできます。時間が経つにつれて、アラーム トーンは自動的に大きくなります。この機能はステップアラートとして知られています。下記の手順に従って、無線機で警告エスカレーション トーンのオンとオフを切り替えます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 **◀P2** または **P3▶** を押して [せってい] に移動します。**☎OK** を押して選択します。

- 3 **◀P2** または **P3▶** を押して [きのうせってい] に移動します。**☎OK** を押して選択します。

- 4 **◀P2** または **P3▶** を押して [トーン/アラート] に移動します。**☎OK** を押して選択します。

- 5 **◀P2** または **P3▶** を押して [ステップ アラート] に移動します。**☎OK** を押して選択します。

- 6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - **◀P2** または **P3▶** を押して [オン] に移動します。**☎OK** を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [オン] の隣に表示されます。
 - **◀P2** または **P3▶** を押して [オフ] に移動します。**☎OK** を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [オフ] の隣に表示されます。

通話履歴機能

無線機は、最近の発信、応答、不在の個別コールをすべて記録します。最近の通話の表示および管理を行うには、通話履歴機能を使用します。

お使いの無線機のシステム設定に応じて、不在着信アラートを通話履歴に含めることができます。各通話リストでは次のタスクを実行できます。

- 連絡先へのエイリアスまたは ID の保存
- 通話の削除
- すべての通話の削除
- 詳細の表示

7.11.1

最近の通話の表示

- 1 **☎OK** を押してメニューにアクセスします。

- 2 **◀P2** または **P3▶** を押して [つうわ りれき] に移動します。**☎OK** を押して選択します。

- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して優先リストに移動します。オプションは「ふざいちゃくしん」、「へんとうずみ」、および「はっしん」リストです。

[OK] を押して選択します。

ディスプレイに最近のエントリが表示されます。

- 4 **[P2]** または **[P3]** を押してリストを表示します。

PTT ボタンを押すと、現在ディスプレイに表示されているエイリアスまたは ID で、通話を開始できません。

- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して必要なリストに移動します。**[OK]** を押して選択します。

- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。**[OK]** を押して選択します。

- 5 **[P2]** または **[P3]** を押して「しょうさい」に移動します。**[OK]** を押して選択します。

ディスプレイに通話の詳細が表示されます。

7.11.2

通話リストの詳細の表示

下記の手順に従って、無線機で通話の詳細を表示します。

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して「つうわ りれき」に移動します。**[OK]** を押して選択します。

7.11.3

通話リストからのエイリアスまたは ID の保存

下記の手順に従って、通話リストから無線機にエイリアスまたは ID を保存します。

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して「つうわ りれき」に移動します。**[OK]** を押して選択します。

3 **◀P2** または **P3▶** を押して必要なリストに移動します。**☎OK** を押して選択します。

4 **◀P2** または **P3▶** を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。**☎OK** を押して選択します。

5 **◀P2** または **P3▶** を押して『ほかん』に移動します。**☎OK** を押して選択します。

ディスプレイに表示されているカーソルが点滅し
ます。

6 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。**☎OK**
を押して選択します。

エイリアスなしで ID を格納することができます。
ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されま
す。

7.11.4

通話リストからの通話の削除

下記の手順に従って、通話リストから通話を削除します。

1 **☎OK** を押してメニューにアクセスします。

2 **◀P2** または **P3▶** を押して『つうわ りれき』に移動
します。**☎OK** を押して選択します。

3 **◀P2** または **P3▶** を押して必要なリストに移動しま
す。**☎OK** を押して選択します。

リストが空の場合:

- トーンが鳴ります。
 - ディスプレイに『リストがありません』と表示さ
れます。
-

4 **◀P2** または **P3▶** を押して必要なエイリアスまたは
ID に移動します。**☎OK** を押して選択します。

5 **◀P2** または **P3▶** を押して『さくじょ』に移動しま
す。**☎OK** を押して選択します。

6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- **☎OK** を押して『はい』を選択してエントリを削除
します。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

- **◀P2** または **P3▶** を押して [いいえ] に移動します。 **☑OK** を押して選択します。

前の画面に戻ります。

-
- 5 **◀P2** または **P3▶** を押して [ぜんさくじょ] に移動します。 **☑OK** を押して選択します。

-
- 6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- **☑OK** を押して [はい] を選択し、すべてのエントリを削除します。
ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
 - **◀P2** または **P3▶** を押して [いいえ] に移動します。 **☑OK** を押して選択します。
前の画面に戻ります。
-

7.11.5

通話リストからのすべての通話の削除

下記の手順に従って、通話リストからすべての通話を削除します。

- 1 **☑OK** を押してメニューにアクセスします。
-
- 2 **◀P2** または **P3▶** を押して [つうわ りれき] に移動します。 **☑OK** を押して選択します。
-
- 3 **◀P2** または **P3▶** を押して必要なリストに移動します。 **☑OK** を押して選択します。
-
- 4 **◀P2** または **P3▶** を押して必要なエリアスまたは ID に移動します。 **☑OK** を押して選択します。
-

7.12

ページング操作

ページング機能を使用して、特定の無線機ユーザーに、かけ直すようアラートを送信できます。

この機能は、無線機のエイリアスまたは ID のみに適用され、メニューから [れんらくさき] または [ダイアル] を選択するか、プログラムされた [ワンタッチ アクセス] ボタンを使用してアクセスできます。

7.12.1

ページングへの応答

ページングを受信した場合：

- 反復トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が点滅します。
- ディスプレイに通知リストが表示され、ページングとともに、呼び出し元無線機のエイリアスまたは ID が示されます。

ディーラーまたはシステム管理者の設置に応じて、以下の 1 つを行うことによりページングに応答できます。

- **PTT** ボタンを押し、個別コールを使って発信者に直接応答します。
- **PTT** ボタンを押し、通常のグループ通信を続けます。
ページングは通話履歴メニューの不在着信履歴オプションに移動します。不在着信履歴から発信者に応答できます。

詳しくは、「[通知リスト ページ 133](#)」および「[通話履歴機能 ページ 95](#)」を参照してください。

7.12.2

ページングの発信

下記の手順に従って、無線機でページングを発信します。

- 1 プログラムされた [**ワンタッチ アクセス**] ボタンを押します。

ディスプレイに「**ページング**」と無線機のエイリアスと ID が表示されます。緑色の LED が点灯します。


- 2 確認応答を待ちます。

ページング承認を受信した場合は、ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

ページング承認を受信していない場合は、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

7.12.3

連絡先リストを使用したページングの発信

- 1  を押してメニューにアクセスします。

2 **◀P2** または **P3▶** を押して「れんらくさき」に移動します。**☎OK** を押して選択します。

3 **◀P2** または **P3▶** を押して必要なエリアまたは ID に移動します。**☎OK** を押して選択します。

4 **◀P2** または **P3▶** を押して「ページング」に移動します。**☎OK** を押して選択します。

ディスプレイに「ページング」と無線機のエリアまたは ID が表示されます。緑色の LED が点灯します。

5 確認応答を待ちます。

- 承認を受信した場合は、ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
 - 承認を受信していない場合は、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
-

ダイヤルを使用したページングの発信

手下記の手順に従って、ダイヤルを使用して無線機でページングを発信します。

1 **☎OK** を押してメニューにアクセスします。

2 **◀P2** または **P3▶** を押して「れんらくさき」に移動します。**☎OK** を押して選択します。

3 **◀P2** または **P3▶** を押して「ダイヤル」に移動します。**☎OK** を押して選択します。

ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。

4 無線機の ID を入力し、**☎OK** を押して先に進みます。

5 **◀P2** または **P3▶** を押して「ページング」に移動します。**☎OK** を押して選択します。

ディスプレイに「ページング」と無線機のエリアまたは ID が表示されます。緑色の LED が点灯します。

6 確認応答を待ちます。

- ページング承認を受信した場合は、ディスプレイにポジティブミニ通知が表示されます。
- ページング承認を受信していない場合は、ディスプレイにネガティブミニ通知が表示されます。

7.13

動的な発信者のエイリアス

この機能を使用すると、発信者のエイリアスを無線機の前面パネルから動的に編集できます。



注記:

この機能を実行するには、キーボード マイクが必要です。











通話中は、受信無線機に送信無線機の発信者のエイリアスが表示されます。

[発信者のエイリアス] リストには、送信無線機の発信者のエイリアスを最大 500 件保存できます。個別コールを [発信者のエイリアス] リストから表示または発信できます。無線機の電源を切ると、発信者のエイリアスの受信履歴が [発信者のエイリアス] リストから削除されます。

7.13.1

発信者のエイリアス リストを表示する







[発信者のエイリアス] リストにアクセスして、発信者のエイリアスの詳細の送受信を表示できます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して『はっしんしゃエイリアス』に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して優先リストに移動します。  を押して選択します。
- 4  または  を押して『しょうさい』に移動します。  を押して選択します。

7.13.2

個別コールを発信者のエイリアス リストから開始

[発信者のエイリアス] リストにアクセスして、個別コールを開始できます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して「はっしんしゃエイリアス」に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して <[必要な発信者のエイリアス]> に移動します。
- 4 呼び出すには、**PTT** ボタンを押し続けます。

7.14

緊急操作

重大な状況を示すために、緊急アラームが使用されます。いつでも、現在のチャンネルでアクティビティがある場合であっても、緊急操作を開始できます。

ディーラーは、プログラムされた [緊急] ボタンの押し下げ時間を設定できます。ただし、他のボタンと同様、長押しは除きます。

短押し

0.05 ～ 0.75 秒の間

長押し

1.00 ～ 3.75 秒の間

緊急ボタンには、緊急のオン/オフ機能が割り当てられています。緊急ボタンに割り当てられている操作については、ディーラーに確認してください。



注記:

緊急ボタンの短押しで緊急モードが開始される場合には、長押しで緊急モードが終了します。

緊急ボタンの長押しで緊急モードが開始される場合には、短押しで緊急モードが終了します。

お使いの無線機は、3 つの緊急アラームをサポートしています。

- 緊急アラーム
- 通話による緊急アラーム
- 音声ガイドおよび緊急アラーム



注記:

上記の緊急アラームのいずれか 1 つのみを、プログラムされた【緊急】ボタンまたは緊急フットスイッチに割り当てることができます。

また、各アラームには以下のタイプがあります。

レギュラー

無線機がアラーム信号を送信し、音声インジケータと視覚的インジケータのいずれかまたは両方で示されます。

サイレント

無線機がアラーム信号を送信しますが、音声インジケータも視覚的インジケータも示されません。プログラムされた【ホット マイク】送信時間が終了するか、PTT ボタンが押されるまで、スピーカから音が漏れることなく通話を受信します。

音声付きサイレント

音声または視覚的インジケータなしにアラーム信号を送信しますが、着信通話の音はスピーカから聞こえません。

7.14.1

緊急アラームの受信

緊急アラームを受信した場合:

- トーンが鳴ります。

- 赤色の LED が点滅します。
- ディスプレイに、緊急 アイコン、緊急通話送信者のエイリアスが表示されます。また、複数のアラームが出ている場合は、すべての緊急通話送信者のエイリアスがアラーム リストに表示されます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- アラームが 1 つだけの場合、詳細を表示するには **OK** を押します。
- 複数のアラームが出ている場合、詳細を表示するには、**P2** または **P3** を押して必要なエイリアスに移動し、**OK** を押します。



2 **OK** を押すと、操作オプションが表示されます。

3 アラーム リストを終了するには、**ESC** を押して「はい」を選択します。

4 **OK** を押してメニューにアクセスします。

5 「アラーム」を選択すると、アラーム リストが再表示されます。



6 ホーム画面に戻るには、次の操作を実行します。

- a  を押します。
- b ▲ または ▼ を押して [はい] に移動します。
- c  を押して選択します。

無線機がホーム画面に戻り、ディスプレイに [緊急] アイコンが表示されます。

7.14.2

緊急アラームへの応答


- 1 ディスプレイにアラーム リストが表示されていることを確認します。  または  を押して必要なエリアスまたは ID に移動します。
- 2 緊急アラームの送信先と同じグループに緊急でない音声を送信するには、[PTT] ボタンを押します。
 - チャネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が PTT ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャネルが応答できるようになったことを示しています。



注記:

緊急音声を転送できるのは、緊急起動無線だけです。緊急受信無線を含めて、その他の無線は、緊急以外の音声を転送します。

緑色の LED が点灯します。無線機は緊急モードを保ちます。

- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
 -  PTT サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。
- 4 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

緊急操作を開始した無線機が応答する場合:

 - 緑色の LED が点滅します。
 - ディスプレイに、[グループ コール] アイコン、エリアスまたは ID、送信中の無線機のエリアスまたは ID、アラーム リストが表示されます。

7.14.3


緊急アラームの送信

この機能では、音声信号ではない緊急アラームを送信します。この機能を使用して、無線機グループにアラートを通知できます。お使いの無線機がサイレントに設定されている場合、緊急モード中にオーディオや視覚的インジケータは一切表示されません。

下記の手順に従って、無線機で緊急アラームを送信します。

- 1 プログラムされた【緊急オン】ボタンまたは緊急フットスイッチを押します。

次のいずれかが表示されます。

- ディスプレイに【Tx アラーム】および宛先のエイリアスが表示されます。
-  【Tx テレグラム】および宛先のエイリアスが表示されます。

緑色の LED が点灯します。【緊急】アイコンが表示されます。



注記:

プログラムされている場合は、緊急検索トーンが鳴ります。このトーンは、無線機で音声を送受信するときにはミュートされ、緊急モードが終了すると停止されます。緊急検索トーンは CPS を使ってプログラムできます。

2 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- 緊急トーンが鳴ります。
- 赤色の LED が点滅します。
- ディスプレイに【アラームそうしん】と表示されます。

再試行がすべて失敗して処理が正常に行われなかった場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに【アラーム NG】と表示されます。

緊急アラーム モードが終了し、ホーム画面に戻ります。

7.14.4

通話による緊急アラームの送信

この機能では、通話による緊急アラームを無線機グループに送信します。グループ内の無線機から確認応答があるとき、無線機グループは、プログラムされた緊急チャンネルで通信できます。

下記の手順に従って、無線機で通話による緊急アラームを送信します。

- 1 プログラムされた **【緊急オン】** ボタンまたは緊急フットスイッチを押します。ディスプレイに、**【アラーム そうしんちゅう】** が、無線機 ID と交互に表示されます。

次のように表示されます：

- **【Tx テレグラム】** および宛先のエイリアスが表示されます。

緑色の LED が点灯します。 **【緊急】** アイコンが表示されます。



注記:

プログラムされている場合は、緊急検索トーンが鳴ります。このトーンは、無線機で音声を送受信するときにはミュートされ、緊急モードが終了すると停止されます。緊急検索トーンは、ディーラーまたはシステム管理者がプログラムできます。

-
- 2 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合：

- 緊急トーンが鳴ります。
- 赤色の LED が点滅します。
- ディスプレイに **【アラーム そうしん】** と表示されます。
- ディスプレイに **【きんきゅう】** と宛先グループのエイリアスが表示されると、無線機が緊急通話モードに入ります。

-
- 3 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに、 **【グループ コール】** アイコンが表示されます。

- 4 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
 - **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

-
- 5 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。
- ディスプレイに、発信者とグループのエイリアスが表示されます。

-
- 6 **🔊** チャネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

-
- 7 通話を終えた後に緊急モードを終了するには、緊急オフ ボタンを押します。
- 無線機はホーム画面に戻ります。

音声ガイドおよび緊急アラーム

この機能では、緊急アラームと音声ガイドを無線機グループに送信します。無線機のマイクは自動的に有効になり、**PTT** ボタンを押さずに無線機グループと通信できます。このアクティブな状態のマイクを "ホット マイク" と呼びます。

緊急サイクル モードが有効な場合、プログラムされた期間、"ホット マイク" と受信期間が繰り返されます。緊急サイクル モードでは、受信コールの音はスピーカから聞こえます。

プログラムされた受信期間に **PTT** ボタンを押すと、通話禁止音が聞こえます。これは、**PTT** ボタンを放す必要があることを示します。**PTT** ボタンが押されたことは無視され、緊急モードが保たれます。

ホット マイク が有効なときに **[PTT]** ボタンを押し、ホット マイク の期限が切れた後もそのまま押し続けていた場合は、**[PTT]** ボタンを放すまで無線機は送信を続けます。

緊急アラームのリクエストに失敗すると、無線機はそのリクエストを再送信せず、直接 "ホット マイク" 状態に入ります。



注記:

"ホット マイク" を使用できないアクセサリもあります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

7.14.6

緊急アラームと音声ガイドの送信

- 1 プログラムされた [緊急オン] ボタンまたは緊急フットスイッチを押します。

次のいずれかが表示されます。

- [Tx アラーム] および宛先のエイリアスが表示されます。

緑色の LED が点灯します。[緊急] アイコンが表示されます。

CPS を使って有効した場合は、緊急検索トーンが鳴ります。無線機が音声を送信または受信している間は、このトーンは一時的にミュートにされます。無線機が緊急モードを終了するとトーンが停止します。

- 2 ディスプレイに [アラーム そうしん] と表示されたら、マイクに向かってはっきりと話します。

次の場合、無線機は自動的に送信を終了します。

- 緊急サイクル モードが有効で、ホット マイクと通話受信のサイクルの期限が切れた場合。
- 緊急サイクル モードが無効で、ホット マイクの期限が切れた場合。

-
- 3 緊急オフ ボタンを押して、緊急モードを終了します。無線機はホーム画面に戻ります。
-

7.14.7

緊急モードの再開

下記の作業のどちらかを実行します。

- 無線機が緊急モードの間に、チャンネルを変更します。



注記:

新しいチャンネルで緊急アラームを有効にした場合にのみ、緊急モードを再開できません。

- 緊急の起動または転送ステータス時に、プログラムされた【緊急オン】ボタンを押します。


無線機は、緊急モードを終了し再び緊急モードになります。

7.14.8

緊急モードの終了

この機能は、緊急アラームを送信する無線機にのみ適用されます。

次の場合に無線機の緊急モードが終了します。

- 承認を受信した場合 (緊急アラームの場合のみ)。
-  緊急終了テレグラムを受信した場合。
- アラームを送信するすべての再試行が失敗した場合。
- 無線機の電源をオフにした場合。



注記:

もう一度電源を入れた場合、自動的に緊急モードは再開されません。

下記の手順に従って、無線機の緊急モードを終了します。

以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた【緊急オフ】ボタンを押します。
- 承認を受信した後でも無線機が緊急復帰チャンネルにプログラムされているままの場合、無線機の電源を切り、もう一度電源を入れます。
- 緊急システムを設定していない新しいチャンネルに変更します。
ディスプレイに【へいじょう】と表示されます。

7.15

テキスト メッセージング

無線機は、他の無線機やテキスト メッセージ アプリケーションからテキスト メッセージなどのデータを受信できません。

テキスト メッセージには、デジタル車載型無線機 (DMR) ショート テキスト メッセージと、テキスト メッセージの 2 種類があります。DMR ショート テキスト メッセージの最大長は 23 文字です。テキスト メッセージの最大長は、件名を含めて 280 文字です。件名は、電子メール アプリケーションからメッセージを受信した場合にのみ表示されます。



注記:

この最大長は、ソフトウェアとハードウェアが最新のモデルにのみ適用されます。ソフトウェアやハードウェアが古い無線機モデルでは、最大長は 140 文字です。詳細については、ディーラーにお問い合わせください。








7.15.1

テキスト メッセージ

テキスト メッセージは受信 BOX に保存され、新しく受信した順番にソートされます。




7.15.1.1

テキスト メッセージの表示

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [メッセージ] に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して [じゅしん BOX] に移動します。  を押して選択します。

受信 BOX が空の場合:

- ディスプレイに [リストにありません] と表示されます。
- キー操作音がオンであればトーンが鳴ります。

- 4  または  を押して必要なメッセージに移動します。  を押して選択します。

メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合は、件名の行が表示されます。

7.15.1.2

テキスト メッセージへの応答

下記の手順に従って、無線機でテキスト メッセージに応答します。

テキスト メッセージを受信する場合:

- ディスプレイに通知リストが表示され、送信者のエイリアスまたは ID が示されます。
- ディスプレイに [メッセージ] アイコンが表示されます。



注記:

PTT ボタンが押されると、警告画面が終了し、送信者への個別コールまたはグループ コールが開始されます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- **[P2]** または **[P3]** を押して [ひょうじ] に移動します。**[OK]** を押して選択します。
ディスプレイにテキスト メッセージが表示されます。メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合は、件名の行が表示されません。
- **[P2]** または **[P3]** を押して [あとでひょうじ] に移動します。**[OK]** を押して選択します。
テキスト メッセージを受信する前の画面に戻ります。
- **[P2]** または **[P3]** を押して [さくじょ] に移動します。**[OK]** を押して選択します。

2 **[HOME]** を押して [じゅしん BOX] に戻ります。

クイック テキストによるテキスト メッセージへの応答

下記の手順に従って、無線機でクイック テキスト メッセージによるテキスト メッセージに応答します。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた [メッセージ] ボタンを押します。手順 [ステップ 3](#) に進みます。
- **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

2 **[P2]** または **[P3]** を押して [メッセージ] に移動します。**[OK]** を押して選択します。

3 **[P2]** または **[P3]** を押して [じゅしん BOX] に移動します。**[OK]** を押して選択します。

4 **[P2]** または **[P3]** を押して必要なメッセージに移動します。**[OK]** を押して選択します。

メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合は、件名の行が表示されます。

5 **[OK]** を押してサブメニューにアクセスします。

7.15.1.3

6 ◀P2 または ▶P3 を押して「へんしん」に移動します。ⓂOK を押して選択します。

7 ◀P2 または ▶P3 を押して「クイックへんしん」に移動します。ⓂOK を押して選択します。

8 ◀P2 または ▶P3 を押して必要なメッセージに移動します。ⓂOK を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

9 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

- 無線機で「さいそうしん」オプション画面が再び表示されます。
-

7.15.1.4

テキスト メッセージの再送信

「さいそうしん」オプション画面が表示されている場合:

ⓂOK を押して、同じ無線機、グループのエイリアス、または ID に、同じメッセージを再送信します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:




- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
-




7.15.1.5

テキストメッセージの転送 

下記の手順に従って、無線機でテキストメッセージを転送します。

【さいそうしん】オプション画面が表示されている場合:

1  または  を押して【てんそう】に移動し、 を押して同じメッセージを別の無線機またはグループのエイリアスまたは ID に送信します。

2  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

3 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。




正常に行われなかった場合:


- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。




7.15.1.6

ダイアルを使用したテキストメッセージの転送  

下記の手順に従って、無線機でダイアルを使用してテキストメッセージを転送します。

1  または  を押して【てんそう】に移動します。 を押して選択します。

2  を押して、別の無線機、グループのエイリアス、または ID に同じメッセージを送信します。

3  または  を押して【ダイアル】に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイに【むせん ID:】と表示されます。

- 無線機の ID を入力し、**OK** を押して先に進みます。
ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

5 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

- プログラムされた **[メッセージ]** ボタンを押します。**ステップ 3** に進みます。
- OK** を押してメニューにアクセスします。

- ◀P2** または **P3▶** を押して **[メッセージ]** に移動します。**OK** を押して選択します。

- ◀P2** または **P3▶** を押して **[じゅしん BOX]** に移動します。**OK** を押して選択します。

- ◀P2** または **P3▶** を押して必要なメッセージに移動します。**OK** を押して選択します。

メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合は、件名の行が表示されます。

- OK** を押してサブメニューにアクセスします。

- ◀P2** または **P3▶** を押して **[さくじょ]** に移動します。**OK** を押して選択します。

7.15.1.7

受信 BOX からのテキスト メッセージの削除

下記の手順に従って、無線機で受信 BOX からテキスト メッセージを削除します。

- 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 7 **◀P2** または **P3▶** を押して「はい」に移動します。
☎OK を押して選択します。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されま
 ず。画面は [受信トレイ] に戻ります。

受信 BOX が空の場合:

- ディスプレイに「リストにありません」と表示され
 れます。
- トーンが鳴ります。

7.15.1.8

受信 BOX からのすべてのテキスト メッセ ージの削除

下記の手順に従って、無線機で受信 BOX からすべてのテキ
 スト メッセージを削除します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた [メッセージ] ボタンを押しま
 す。 [ステップ 3](#) に進みます。
 - **☎OK** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **◀P2** または **P3▶** を押して「メッセージ」に移動しま
 ず。 **☎OK** を押して選択します。
- 3 **◀P2** または **P3▶** を押して「じゅしん BOX」に移動し
 ます。 **☎OK** を押して選択します。

- 4 **◀P2** または **P3▶** を押して「ぜんさくじょ」に移動し
 ます。 **☎OK** を押して選択します。

- 5 **◀P2** または **P3▶** を押して「はい」に移動します。
☎OK を押して選択します。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されま
 ず。

選択した受信トレイにメッセージが存在しない場合、ディ
 スプレイに「リストにありません」と表示され、キーパッド
 トーンがオンの場合は低いトーンが鳴ります。詳細につい
 ては、「[キー操作音のオンとオフの切り替え ページ 141](#)」を
 参照してください。



注記:

キーパッドが有効なマイクでは、さらに多くのテキ
 スト メッセージ機能があります。詳細については、
[「テキスト メッセージ ページ 110」](#) を参照してくだ
 さい。

7.15.2

送信済みテキスト メッセージ 


別の無線機に送信されたメッセージは、送信 BOX フォルダに保存されます。最近送信されたテキスト メッセージは、必ず送信 BOX フォルダの一番上に追加されます。

送信 BOX フォルダは、最大で 30 件の最近送信されたメッセージを格納できます。フォルダが一杯であるときにテキスト メッセージを送信すると、置き換えとして、フォルダの一番古いテキスト メッセージが自動的に削除されます。

メッセージ送信中にメッセージ送信画面を終了すると、ディスプレイや音声による通知を行わずに、送信 BOX フォルダ内のメッセージのステータスが更新されます。

送信 BOX フォルダ内のメッセージ ステータスが更新される前に、無線機のモードが変更されたり電源がオフになったりすると、実行中のメッセージを完了できなくなり、そのメッセージには自動的に [送信失敗] アイコンが表示されます。


無線機では、同時に最大で 5 件の実行中メッセージを使用できます。この間、新しいメッセージを送信できなくなり、新しいメッセージには自動的に [送信失敗] アイコンが表示されます。




 ボタンを長押しすると、無線機はいつでもホーム画面に戻ります。




7.15.2.1




送信済みテキスト メッセージの表示 

下記の手順に従って、無線機で送信済みテキスト メッセージを表示します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた [メッセージ] ボタンを押します。 [ステップ 3](#) に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。

-
- 2  または  を押して [メッセージ] に移動します。  を押して選択します。

-
- 3  または  を押して [そうしん BOX] に移動します。  を押して選択します。

-
- 4  または  を押して必要なメッセージに移動します。  を押して選択します。






メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合は、件名の行が表示されます。

7.15.2.2




送信済みテキスト メッセージの送信 

テキスト メッセージの閲覧中、[さいそうしん] または [てんそう] オプションを選択できます。下記の手順に従って、無線機で送信済みテキスト メッセージを送信します。




送信済みメッセージを表示する場合:

- 1 メッセージの表示中に、 を押します。
- 2 送信済みテキスト メッセージの再送信または転送を行うことができます。以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 -  [さいそうしん] に移動します。 を押して選択します。
 -  [てんそう] に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。



- 3  または  を押して [さいそうしん] に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

- 4 ボリュームを変更するか、、、および  以外のボタンを押すと、メッセージに戻ります。

[PTT] ボタンを押して個別コールやグループ コールを行ったり、グループ コールに回答したりすると、[さいそうしん] オプション画面が終了します。無線機がテキスト メッセージ、緊急通話や緊急アラーム、またはページングを受信した場合にも、画面が終了されます。

個別コールに回答する場合 (無線機が不在通話画面を表示している場合を除く) や、一斉コールの最後で [PTT] ボタンを押すと、[さいそうしん] オプション画面に戻ります。

- 5  または  を押して [てんそう] または [さいそうしん] オプション画面に移動します。以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - [てんそう] を選択して、選択したテキスト メッセージを別のターゲット無線機に送信します。詳

細については、「[テキスト メッセージの転送 ページ 113](#)」を参照してください。キーパッド マイクを使用してターゲット無線機のアドレスを手動で選択することもできます。詳細については、「[ダイアルを使用したテキスト メッセージの転送 ページ 113](#)」を参照してください。

- テキスト メッセージを削除するには、[さくじょ] を選択します。

6 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:


- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
- 無線機に [さいそうしん] オプション画面が表示されます。詳細については、「[テキスト メッセージの再送信 ページ 112](#)」を参照してください。




7.15.2.3

送信 BOX フォルダからの送信済みテキスト メッセージの削除

下記の手順に従って、無線機で送信 BOX フォルダから送信済みテキスト メッセージを削除します。

送信済みメッセージを表示する場合:

1  を押します。

2  または  を押して [さくじょ] に移動します。  を押して選択します。

7.15.2.4

送信 BOX フォルダからのすべての送信済みテキスト メッセージの削除

下記の手順に従って、無線機で送信 BOX フォルダからすべての送信済みテキスト メッセージを削除します。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた [メッセージ] ボタンを押します。 [ステップ 3](#) に進みます。

- **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

2 **[P2]** または **[P3]** を押して「メッセージ」に移動します。**[OK]** を押して選択します。

3 **[P2]** または **[P3]** を押して「そうしん BOX」に移動します。**[OK]** を押して選択します。

[そうしん BOX] フォルダが空の場合:

- ディスプレイに「リストにありません」と表示されます。
- トーンが鳴ります。

4 **[P2]** または **[P3]** を押して「ぜんさくじょ」に移動します。**[OK]** を押して選択します。

5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- **[P2]** または **[P3]** を押して「はい」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- **[P2]** または **[P3]** を押して「いいえ」に移動します。**[OK]** を押して選択します。

前の画面に戻ります。

7.15.3

クイック テキスト メッセージ

無線機では、ディーラーがプログラミングするクイック テキスト メッセージを最大 50 まで使用できます。

7.15.3.1

クイック テキスト メッセージの送信

下記の手順に従って、無線機で事前に定義したクイック テキスト メッセージを事前に定義したエイリアスに送信します。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。[ステップ 6](#)に進みます。
- **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

2 **[P2]** または **[P3]** を押して「メッセージ」に移動します。**[OK]** を押して選択します。

3 **◀P2** または **P3▶** を押して「クイック テキスト」に移動します。**☞OK** を押して選択します。

4 **◀P2** または **P3▶** を押して必要なクイック テキストメッセージに移動します。**☞OK** を押して選択します。

5 **◀P2** または **P3▶** を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。**☞OK** を押して選択します。

6 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

- 無線機に「さいそうしん」オプション画面が表示されます。詳細については、「[テキストメッセージの再送信 ページ 112](#)」を参照してください。
-

7.16

アナログメッセージエンコード

無線機では、メッセージ リストから無線エイリアスまたは ディスパッチャに、事前にプログラムされたメッセージを送信できます。

7.16.1

ディスパッチャへの MDC エンコード メッセージの送信

下記の手順に従って、無線機で MDC エンコード メッセージをディスパッチャに送信します。

1 **☞OK** を押してメニューにアクセスします。

2 **◀P2** または **P3▶** を押して「メッセージ」に移動します。**☞OK** を押して選択します。

3 **◀P2** または **▶P3** を押して「クイック テキスト」に移動します。**ⓂOK** を押して選択します。

4 **◀P2** または **▶P3** を押して必要なメッセージに移動します。**ⓂOK** を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

5 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
 - ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
-

連絡先への 5 トーン エンコード メッセージの送信

下記の手順に従って、無線機で 5 トーン エンコード メッセージを連絡先に送信します。

1 **ⓂOK** を押してメニューにアクセスします。

2 **◀P2** または **▶P3** を押して「メッセージ」に移動します。**ⓂOK** を押して選択します。

3 **◀P2** または **▶P3** を押して「クイック テキスト」に移動します。**ⓂOK** を押して選択します。

4 **◀P2** または **▶P3** を押して必要なメッセージに移動します。**ⓂOK** を押して選択します。

5 **◀P2** または **▶P3** を押して必要な連絡先に移動します。**ⓂOK** を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

7.16.2

6 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。



注記:

詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

7.17

アナログ ステータス更新











無線機では、現在のアクティビティを示すステータス リストから統制台に、事前にプログラムされたメッセージを送信できます。

最後に確認されたメッセージがステータス リストの最上部に保存されます。他のメッセージは英数字順に並べられません。

7.17.1

定義済み連絡先へのステータス更新の送信

下記の手順に従って、無線機で定義済み連絡先にステータス更新を送信します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して「ステータス」に移動します。 を押して選択します。
- 3  または  を押して必要なステータスに移動します。 を押して選択します。
- 4  または  を押して「しよきちにセット」に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、ステータス更新が送信中であることが示されます。

5 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- ディスプレイで、承認されたステータスの隣に ✓ が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
- ディスプレイで、前のステータスの隣に ✓ が表示されます。

秘話モード対応で送信するには、無線機のチャンネルに秘話モードを設定する必要があります。ただし、秘話モードを設定していなくても受信はできます。秘話モード対応チャンネル上で、無線機はクリアな送信、つまりスクランブルされていない送信を引き続き受信できます。

無線機のモデルによっては、秘話モード機能がない場合や、構成が異なる場合があります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

お使いの無線機では、拡張プライバシーのみを使用できます。この機能を使用するには、ソフトウェアのライセンス キーを別途購入する必要があります。

秘話対応の通話またはデータ送信のスクランブルを解除するには、送信側の無線機と同じキー値およびキー ID を無線機にプログラムする必要があります。

無線機が別のキー値およびキー ID によるスクランブル通話を受信すると、何も聞こえません。

無線機のプログラム方法に応じて、秘話モード対応チャンネル上で、無線機はクリアな通話、つまりスクランブルされていない通話を受信できます。さらに、無線機のプログラム方法に応じて、警告音を鳴らすことも鳴らさないこともできます。

無線機が送信しているときは、緑色の LED が点灯します。無線機が進行中の秘話対応通話を受信しているときは、LED が 2 回点滅します。

7.18


プライバシー




この機能は、ソフトウェアベースのスクランブル ソリューションの使用により、不正なユーザーによる盗聴を防ぐのに役立ちます。送信のシグナリングおよびユーザー識別の部分はスクランブルされません。




7.18.1




秘話モードのオンとオフの切り替え 

下記の手順に従って、無線機で秘話モードのオンとオフを切り替えます。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【ひわモード】ボタンを押します。進行中の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して【せってい】に移動します。 を押して選択します。

- 3  または  を押して【きのうせってい】に移動します。 を押して選択します。

- 4  または  を押して<必要なプライバシー>に移動します。 を押して選択します。
 - プライバシーがオンの場合、ディスプレイで【ゆうこう】の隣に ✓ が表示されます。
 - プライバシーがオフの場合、ディスプレイで【ゆうこう】の隣に空のボックスが表示されます。

- 無線機に秘話モードのタイプが割り当てられている場合、無線機が緊急通話または緊急アラームを送受信している場合を除き、ディスプレイに【セキュア】アイコンまたは【非セキュア】アイコンが表示されます。

7.19

アナログスクランブル 












このアナログ専用機能は、チャンネル上の不正ユーザーによる盗聴を防止します。

アナログスクランブルが有効な送信を送受信するには、無線機がチャンネルでアナログスクランブルが有効になっている必要があります。アナログスクランブルが有効なチャンネルでは、クリアな、またはスクランブルされていない送信を受信することができません。

無線機では、2つのアナログスクランブルコードを使用できます。これらのコードは、プログラム可能なボタンを使用して切り替えることができます。

7.19.1

アナログ スクランブルのオンとオフの切り替え

- 1 下記の作業のどちらかを実行します。
 - この機能を有効または無効にするには、プログラムされた【アナログ スクランブル】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して【せってい】に移動します。 を押して選択します。
- 3  または  を押して【きのうせってい】に移動します。 を押して選択します。
- 4  または  を押して【スクランブル】に移動します。 を押して選択します。
- 5  を押して、アナログ スクランブルを有効または無効にします。








有効にすると、✓ が【ゆうこう】の隣に表示されません。

無効な場合、✓ が【ゆうこう】の隣で非表示になります。

7.19.2

アナログ スクランブル コードの設定

下記の手順に従って、無線機でアナログ スクランブル コードを設定します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【アナログ スクランブル コード】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して【せってい】に移動します。 を押して選択します。
- 3  または  を押して【きのうせってい】に移動します。 を押して選択します。

4 **◀P2** または **P3▶** を押して「スクランブル」に移動します。**ⓂOK** を押して選択します。

5 **◀P2** または **P3▶** を押して必要なコードに移動します。**ⓂOK** を押して選択します。

7.20

複数サイト コントロール



無線機は、現在のサイトからの信号が弱い場合や、無線機が現在のサイトからの信号をまったく検出できない場合は、サイトを検索してサイト間を切り替えられます。

信号が強ければ、無線機は現在のサイトに留まります。

この設定は、現在の無線機チャンネルが IP Site Connect または Capacity Plus-Multi-Site 設定に含まれている場合に適用されます。

無線機では、次のいずれかのサイト検索を実行できます。

- 自動サイト検索
- 手動サイト検索

現在のチャンネルがローミング リスト付きの複数サイト チャンネルで、通信範囲外であり、サイトがロック解除されている場合、無線機もまた自動サイト検索を実行します。

7.20.1

自動サイト検索の開始

7.20.2

自動サイト検索の停止

下記の手順に従って、無線機が新規サイトをアクティブに検索しているときに自動サイト検索を停止します。

7.20.3

手動サイト検索の有効化

無線機が新しいサイトを見つけると、無線機には次のような通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。

無線機が新しいサイトを見つけられない場合、無線機には次のような通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴ります。

7.21


セキュリティ 

この機能では、システム内の任意の無線機の有効、無効を切り替えられます。

たとえば、盗難にあった無線機を無効にして不正ユーザーが使用できないようにし、無線機を回収したら有効にできます。

無線機を有効または無効にする方法には、認証を使用する方法と認証を使用しない方法の2つがあります。

認証を伴う無線機の無効化は、購入可能な機能です。認証を伴う無線機の無効化では、無線機を有効化または無効化する際に検証が必要です。無線機で、ユーザー認証を使用してターゲットの無線機に対してこの機能を開始する場合、パズフレーズが必要です。パズフレーズは、CPS を使用して、ターゲットの無線機に事前にプログラムしておきます。

無線機を有効または無効にする手順の途中で  を押すと、承認を受信できなくなります。



注記:

詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

7.21.1

無線機の無効化 

下記の手順に従って、無線機を無効にします。


- 1 プログラムされた **[無線停止]** ボタンを押します。
- 2 確認応答を待ちます。
正常に行われた場合:
 - ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。正常に行われなかった場合:
 - ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

7.21.2

連絡先リストを使用した無線機の無効化



下記の手順に従って、連絡先リストを使用して無線機を無効にします。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

2 **◀P2** または **▶P3** を押して「れんらくさき」に移動します。**☺OK** を押して選択します。

3 **◀P2** または **▶P3** を押して必要なエリアまたはIDに移動します。**☺OK** を押して選択します。

4 **◀P2** または **▶P3** を押して「むせんていし」に移動します。

- 5 **☺OK** を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。
- ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色のLEDが点滅します。
 - パスフレーズ画面が表示されます。

パスフレーズを入力します。**☺OK** を押して次の操作へ進みます。

- パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色のLEDが点灯します。

- パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。
-

6 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブインジケータトーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブインジケータトーンが鳴ります。
 - ディスプレイにネガティブミニ通知が表示されます。
-

7.21.3

ダイヤルを使用した無線機の無効化

下記の手順に従って、ダイヤルを使用して無線機を無効にします。

- 1 **☺OK** を押してメニューにアクセスします。
-

2 **[P2]** または **[P3]** を押して「れんらくさき」に移動します。**[OK]** を押して選択します。

3 **[P2]** または **[P3]** を押して「ダイヤル」に移動します。**[OK]** を押して選択します。

4 **[P2]** または **[P3]** を押して「こべつコール」に移動します。**[OK]** を押して選択します。

テキスト行の 1 行目に「むせん ID:」と表示されます。

5 無線機の ID を入力し、**[OK]** を押して先に進みます。

6 **[P2]** または **[P3]** を押して「むせんていし」に移動します。

7 **[OK]** を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。

- ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点滅します。
- パスフレーズ画面が表示されます。

パスフレーズを入力します。**[OK]** を押して次の操作へ進みます。

- パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。
 - パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。
-

8 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
 - ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
-

7.21.4

無線機の有効化 

下記の手順に従って、無線機を有効にします。

1 プログラムされた [停止解除] ボタンを押します。

2 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

正常に行われなかった場合:


- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。




7.21.5




連絡先リストを使用した無線機の有効化






下記の手順に従って、連絡先リストを使用して無線機を有効にします。

1  を押してメニューにアクセスします。

2  または  を押して [れんらくさき] に移動します。  を押して選択します。


3  または  を押して必要なエリアまたは ID に移動します。  を押して選択します。

4  または  を押して [ていしかいじょ] に移動します。

5  を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。

- 緑色の LED が点滅します。ディスプレイには [むせんオン] および無線機のエリアまたは ID が表示されます。緑色の LED が点灯します。

- パスフレーズ画面が表示されます。

パスフレーズを入力します。  を押して次の操作へ進みます。

- パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。

- ・ パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。

6 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ・ ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ・ ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。


正常に行われなかった場合:




- ・ ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ・ ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。




7.21.6




ダイアルを使用した無線機の有効化

下記の手順に従って、ダイアルを使用して無線機を有効にします。



- 1  を押してメニューにアクセスします。


- 2  または  を押して [れんらくさき] に移動します。  を押して選択します。


- 3  または  を押して [ダイアル] に移動します。  を押して選択します。

- 4  または  を押して [こべつコール] に移動します。  を押して選択します。
テキスト行の 1 行目に [むせん ID:] と表示されます。

- 5 無線機の ID を入力し、  を押して先に進みます。

- 6  または  を押して [ていしかいじょ] に移動します。

- 7  を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。
 - ・ 緑色の LED が点滅します。ディスプレイには [むせんオン] および無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。緑色の LED が点灯します。
 - ・ パスフレーズ画面が表示されます。

パスフレーズを入力します。  を押して次の操作へ進みます。

- パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色のLED が点灯します。
- パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。

8 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。


ローン ワーカー

この機能を使用すると、事前に定義した期間中にユーザー操作 (無線機のボタンの押下やチャンネル選択など) がない場合に、緊急アラームを発生させることができます。

プログラムされた期間にユーザーによる操作がなく、無操作タイマーの時間が経過すると、無線機は音声インジケータでユーザーに最初の警告を発します。

事前に定義した通知タイマーの時間が経過しても確認応答がない場合に、無線機から緊急アラームが発せられます。

この機能には、下記の緊急アラームのいずれか 1 つのみが割り当てられます。

- 緊急アラーム
- 通話による緊急アラーム
- 音声ガイドおよび緊急アラーム 

無線機は、緊急状態のままとなり、操作が行われるまで音声メッセージの送信が継続します。緊急状態の終了方法の詳細については、「[緊急操作 ページ 102](#)」を参照してください。



注記:

詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

7.23

通知リスト


無線機には、未読のメッセージ、テレメータメッセージ、不在着信やページングなど、チャンネル上で未読のイベントをすべて収集する通知リストがあります。

通知リストにイベントが1件以上あると、ディスプレイに【おしらせ】アイコンが表示されます。

リストでは、最大40の未読イベントを使用できます。リストがいっぱいになると、自動的に最も古いイベントが次のイベントで置き換えられます。これらのイベントは、読まれた後、通知リストから削除されます。



注記:


通知リストが表示されると、スキャンが一時停止します。通知リストを終了すると、スキャンが再開されます。通知リストを終了するには、 を押すか、メニュータイマーが切れるまで待ちます。


7.23.1




通知リストへのアクセス




下記の手順に従って、無線機で通知リストにアクセスします。


- 1 以下のいずれか1つの手順を実行します。

- プログラムされた【通知】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
-  を押してメニューにアクセスします。

- 2  を押してメニューにアクセスします。

- 3  または  を押して【おしらせ】に移動します。 を押して選択します。

- 4  または  を押して必要なイベントに移動します。 を押して選択します。

ホーム画面に戻るには、 を長押しします。

7.24

オートレンジ トランスポンダ システム



オートレンジ トランスポンダ システム (ARTS) はアナログのみの機能で、無線機が ARTS を搭載した他の無線機の通信圏外にあるときに通知するよう設計されています。

ARTS を搭載した無線機は、定期的に信号の送受信を行って、互いに通信圏内にあることを確認します。

無線機は、次のようなステータスを示します。

初回警告

トーンが鳴ります。

ディスプレイにチャンネル エイリアスと【エリアない】が表示されます。

ARTS 通信圏内警告

プログラムされている場合はトーンが鳴ります。

ディスプレイにチャンネル エイリアスと【エリアない】が表示されます。

ARTS 通信圏外警告

トーンが鳴ります。赤色の LED が素早く点滅します。

ディスプレイに、【けんがい】とホーム画面が交互に表示されます。



注記:

詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

7.25

エア接続プログラミング

ディーラーは、物理的に接続せずにエア接続プログラミング (OTAP) 経由で無線機をリモートから更新できます。さらに、一部の設定も OTAP から設定できます。

無線機が OTAP を実行中のときは、緑色の LED が点滅しません。

大量データを受信した場合:

- ディスプレイに【大量データ】アイコンが表示されます。
- チャンネルがビジー状態になります。
- **PTT** ボタンを押すと、ネガティブ トーンが鳴ります。

OTAP が完了した場合 (構成に依存):

- トーンが鳴ります。ディスプレイに【アップデート リセット】と表示されます。電源がオフになってからオンになり、無線機が再起動します。
- 【リスタート】または【えんきする】を選択できます。【えんきする】を選択すると、前の画面に戻ります。自動再起動が行われるまで、ディスプレイに【OTAP 遅延タイマー】アイコンが表示されます。

自動再起動後に無線機の電源が入った場合:

- 成功すると、ディスプレイに【ソフト アップデートかんりょう】と表示されます。
- 失敗すると、ディスプレイに【ソフト アップデートしっばい】と表示されます。

更新されたソフトウェア バージョンについては、「[ソフトウェア更新情報のチェック ページ 156](#)」を参照してください。

7.26



受信信号強度インジケータ

この機能を使用して、受信信号強度インジケータ (RSSI) 値を表示できます。


ディスプレイでは、**[RSSI]** アイコンが右上端に表示されます。**[RSSI]** アイコンの詳細については、「**ディスプレイアイコン**」を参照してください。

7.26.1

RSSI 値の表示

ホーム画面で、 を 3 回押し、 を 1 回長押しします。

ディスプレイに現在の RSSI 値が表示されます。

ホーム画面に戻るには、 を長押しします。

7.27

デュアル トーン マルチ周波数



デュアル トーン マルチ周波数 (DTMF) 機能を使用すると、無線機システム内で電話機システムを操作できます。

すべての無線機トーンと警告を無効にすると、DTMF トーンが自動的にオフになります。

7.27.1

DTMF 通話の開始

下記の手順に従って、無線機で DTMF 通話を開始します。

- 1 PTT ボタンを押し続けます。
- 2 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - 番号を入力して DTMF 通話を開始します。
 -  を押して DTMF 通話を開始します。
 -  を押して DTMF 通話を開始します。

7.28

パスワード ロック

パスワードを設定して、無線機へのアクセスを制限できます。無線機の電源を入れるたびに、パスワードを入力するように求められます。

無線機では、4 桁のパスワード入力を使用できます。

ロック状態の無線機は、コールを受信できません。

7.28.1

パスワードを使用した無線機へのアクセス

無線機の電源を入れます。

- 1 4桁のパスワードを入力します。
 - a キーパッド マイクを使用します。
 - b 各桁の数値を編集するには、**[◀P2]** または **[P3▶]** を押します。次の桁を入力して移動するには、**[OK]** を押します。



注記:
緊急 フットスイッチを使用すると、無線機にアクセスするためのパスワードの入力がキャンセルされます。

- 2 **[OK]** を押してパスワードを確認します。

パスワードを正しく入力すると、無線機の電源が入ります。

1回目と2回目の試行後に誤ったパスワードを入力すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴り続けます。

- ディスプレイに「パスワードふてきごう」と表示されません。

ステップ1を繰り返します。

3回目の試行後に誤ったパスワードを入力すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- 黄色のLEDが2回点滅します。
- ディスプレイに「パスワードふてきごう」に続き、「むせんきロックずみ」と表示されます。
- 無線機は15分間ロック状態になります。



注記:
ロック状態の無線機は、オン/オフ/音量コントロールノブおよびプログラムされた【バックライト】ボタンからの入力にのみ反応します。

ロック状態の15分タイマーが終了するのを待ってから、ステップ1を繰り返します。



注記:
無線機の電源を切ってから再度入れると、15分タイマーが再起動します。

7.28.2

ロック状態の無線機をロック解除する

ロック状態の無線機は、コールを受信できません。下記の手順に従って、ロック状態の無線機をロック解除します。















以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 無線機の電源がオンになっている場合には、15 分待つてから [パスワードを使用した無線機へのアクセス ページ 136](#) の手順を繰り返し、無線機にアクセスします。
- 無線機の電源がオフになっている場合には、無線機の電源をオンにします。ロック状態の 15 分タイマーが再起動されます。トーンが鳴ります。黄色の LED が 2 回点滅します。15 分待つてから [パスワードを使用した無線機へのアクセス ページ 136](#) の手順を繰り返し、無線機にアクセスします。

7.28.3

パスワード ロックのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機でパスワード ロックのオンとオフを切り替えます。

-  を押してメニューにアクセスします。
-  または  を押して「せってい」に移動します。 を押して選択します。
-  または  を押して「きのうせってい」に移動します。 を押して選択します。
-  または  を押して「パスワード ロック」に移動します。 を押して選択します。
- 現在の 4 桁のパスワードを入力します。
 - キーパッド マイクを使用します。
 -  または  を押して各桁の数値を編集し、 を押して値を入力し、次の桁に移動します。数値を押すたびに、ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
-  を押してパスワードを入力します。

パスワードが正しくない場合は、ディスプレイに「パスワードふてきごう」と表示され、自動的に前のメニューへ戻ります。

- 7 以下のいずれか1つの手順を実行します。
- ◀P2 または ▶P3 を押して「オン」に移動します。
ⓀOK を押して選択します。
ディスプレイの「オン」の隣に ✓ が表示されます。
 - ◀P2 または ▶P3 を押して「オフ」に移動します。
ⓀOK を押して選択します。
ディスプレイの「オフ」の隣に ✓ が表示されます。
-

7.28.4

パスワードの変更

下記の手順に従って、無線機でパスワードを変更します。

- ⓀOK を押してメニューにアクセスします。
 - ◀P2 または ▶P3 を押して「せってい」に移動します。
ⓀOK を押して選択します。
 - ◀P2 または ▶P3 を押して「きのうせってい」に移動します。
ⓀOK を押して選択します。
-

- ◀P2 または ▶P3 を押して「パスワード ロック」に移動します。
ⓀOK を押して選択します。
 - 現在の4桁のパスワードを入力し、ⓀOK を押して次に進みます。

パスワードが正しくない場合は、ディスプレイに「パスワードふてきごう」と表示され、自動的に前のメニューへ戻ります。
 - ◀P2 または ▶P3 を押して「パスワード へんこウ」に移動します。
ⓀOK を押して選択します。
 - 新しい4桁のパスワードを入力し、ⓀOK を押して次に進みます。
 - 新しい4桁のパスワードをもう一度入力し、ⓀOK を押して次に進みます。

処理が正常に行われると、ディスプレイに「パスワードへんこウずみ」と表示されます。
処理が正常に行われなかった場合は、ディスプレイに「パスワードふてきごう」と表示されます。
前のメニューに自動的に戻ります。
-

7.29

正面パネル プログラミング

正面パネル プログラミング (FPP) の特定の機能パラメータをカスタマイズして無線機を効果的に利用できます。

機能パラメータをナビゲートする間、必要に応じて次のボタンを使用します。

左右のナビゲーション ボタン

オプションを左右にナビゲートしたり、値を増減するために押します。

メニュー/OK ボタン

オプションを選択したり、サブ メニューに入るために押します。


戻る/ホーム ボタン




短く押すと、前のメニューに戻ったり、選択画面を終了することができます。




長く押すと、いつでもホーム画面に戻ります。

7.29.1

正面パネル プログラミングモードの開始

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して [せってい] に移動します。
 を押して選択します。

- 3  または  を押して [PGM Radio] に移動します。
 を押して選択します。





ユーティリティ




この章では、無線機で使用できるユーティリティ機能の操作について説明します。




8.1




無線機トーン/アラートのオンとオフの切り替え

着信緊急警告トーン以外の、すべての無線機トーンやアラートは、必要に応じて有効化および無効化できます。下記の手順に従って、無線機でトーン/アラートのオンとオフを切り替えます。







- 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた [全トーン/アラート] ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。
-  または  を押して [せってい] に移動します。 を押して選択します。

3  または  を押して [きのうせってい] に移動します。 を押して選択します。

4  または  を押して [トーン/アラート] に移動します。 を押して選択します。

5  または  を押して [ぜん トーン] に移動します。 を押して選択します。

6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  または  を押して [オン] に移動します。 を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [オン] の隣に表示されます。
-  または  を押して [オフ] に移動します。 を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [オフ] の隣に表示されます。

8.2

キー操作音のオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機でキー操作音のオンとオフを切り替えます。

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して「せってい」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して「きのうせってい」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して「トーン/アラート」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
- 5 **[P2]** または **[P3]** を押して「キーそうさおん」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
- 6 以下のいずれか1つの手順を実行します。
 - **[P2]** または **[P3]** を押して「オン」に移動します。**[OK]** を押して選択します。ディスプレイで✓が「オン」の隣に表示されます。

- **[P2]** または **[P3]** を押して「オフ」に移動します。**[OK]** を押して選択します。ディスプレイで✓が「オフ」の隣に表示されます。

8.3

トーン/アラートのボリューム オフセットレベルの設定

この機能は、音声ボリュームを基準としてトーンまたはアラートのボリュームを調節できます。下記の手順に従って、無線機でトーンとアラートのボリューム オフセットレベルを設定します。

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して「せってい」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して「きのうせってい」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して「トーン/アラート」に移動します。**[OK]** を押して選択します。

5 ◀P2 または ▶P3 を押して [U01 オフセット] に移動します。ⓂOK を押して選択します。

6 ◀P2 または ▶P3 を押して必要なボリューム オフセット レベルに移動します。

対応する各ボリューム オフセット レベルのフィードバック トーンが鳴ります。

7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ⓂOK を押して選択します。必要な音量オフセット レベルが保存されます。
 - Ⓜを押しして終了します。変更が破棄されます。
-

8.4

通話許可トーンのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機で通話許可トーンのオンとオフを切り替えます。

1 ⓂOK を押してメニューにアクセスします。

2 ◀P2 または ▶P3 を押して [せってい] に移動します。ⓂOK を押して選択します。

3 ◀P2 または ▶P3 を押して [きのうせってい] に移動します。ⓂOK を押して選択します。

4 ◀P2 または ▶P3 を押して [トーン/アラート] に移動します。ⓂOK を押して選択します。

5 ◀P2 または ▶P3 を押して [きよか トーン] に移動します。ⓂOK を押して選択します。

6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ◀P2 または ▶P3 を押して [オン] に移動します。ⓂOK を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [オン] の隣に表示されます。
 - ◀P2 または ▶P3 を押して [オフ] に移動します。ⓂOK を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [オフ] の隣に表示されます。
-

8.5

パワー アップ トーンのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機でパワー アップ トーンのオンとオフを切り替えます。

- 1 **[P2]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して「せってい」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して「きのうせってい」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して「トーン/アラート」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
- 5 **[P2]** または **[P3]** を押して「でんげんオン」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
- 6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- **[P2]** または **[P3]** を押して「オン」に移動します。**[OK]** を押して選択します。ディスプレイで✓が「オン」の隣に表示されます。
- **[P2]** または **[P3]** を押して「オフ」に移動します。**[OK]** を押して選択します。ディスプレイで✓が「オフ」の隣に表示されます。

8.6

出力レベル

各チャンネルの出力設定の高低をカスタマイズできます。

つよめ

この設定では、かなり離れた場所にある無線機とも交信できるようになります。

少ない




















この設定では、近い場所にある無線機と交信できます。


8.6.1

出力レベルの設定


下記の手順に従って、無線機で出力レベルを設定します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた【出力レベル】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。
-
- 2  または  を押して【せってい】に移動します。 を押して選択します。
-
- 3  または  を押して【きのうせってい】に移動します。 を押して選択します。
-
- 4  または  を押して【でんげん】に移動します。 を押して選択します。
-
- 5 以下のいずれか1つの手順を実行します。
-  または  を押して【】に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイの【】の隣に ✓ が表示されます。
 -  または  を押して【】に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイの【】の隣に ✓ が表示されます。





画面は前のメニューに戻ります。

- 6 ホーム画面に戻るには、 を長押しします。
ディスプレイに【出力レベル】アイコンが表示されません。

8.7

表示輝度の調整

下記の手順に従って、無線機の表示輝度を調整します。

- 1 以下のいずれか1つの手順を実行します。
- プログラムされた【輝度】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。
-
- 2  または  を押して【せってい】に移動します。 を押して選択します。

3 **◀P2** または **▶P3** を押して『きのうせってい』に移動します。**ⓄOK** を押して選択します。

4 **◀P2** または **▶P3** を押して『きど』に移動します。**ⓄOK** を押して選択します。
ディスプレイに進行状況バーが表示されます。

5 **◀P2** または **▶P3** を押して表示輝度を増減します。**ⓄOK** を押して選択します。

- プログラムされた【ホーン/ライト】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
- **ⓄOK** を押してメニューにアクセスします。

2 **◀P2** または **▶P3** を押して『せってい』に移動します。**ⓄOK** を押して選択します。

3 **◀P2** または **▶P3** を押して『きのうせってい』に移動します。**ⓄOK** を押して選択します。

4 **◀P2** または **▶P3** を押して【ホーン/ライト】に移動します。**ⓄOK** を押して選択します。

5 以下のいずれか1つの手順を実行します。

- **◀P2** または **▶P3** を押して【オン】に移動します。**ⓄOK** を押して選択します。
ディスプレイの【オン】の隣に✓が表示されます。
- **◀P2** または **▶P3** を押して【オフ】に移動します。**ⓄOK** を押して選択します。
ディスプレイの【オフ】の隣に✓が表示されます。

8.8

ホーンとライトのオンとオフの切り替え

無線機では、着信通話をホーンとライトで知らせることができます。この機能を有効にすると、着信通話があるたびに車両のホーンが鳴り、車両のライトが点灯します。この機能は、ディーラーが無線機の背面アクセサリコネクタからインストールする必要があります。下記の手順に従って、無線機で全ホーンとライトのオン、オフを切り替えます。

1 以下のいずれか1つの手順を実行します。

8.9

スケルチ レベル

信号強度が低い不要な通話や、通常の背景雑音よりも強い雑音があるチャンネルを取り除くために、スケルチ レベルを調整できます。

通常

これはデフォルト設定です。



この設定では、不要な通話や背景雑音が取り除かれます。遠隔地からの通話も取り除かれる可能性があります。

8.9.1

スケルチ レベルの設定

下記の手順に従って、無線機でスケルチ レベルを設定します。

- 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【スケルチ】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 - を押してメニューにアクセスします。

2 または を押して【せってい】に移動します。 を押して選択します。

3 または を押して【きのうせってい】に移動します。 を押して選択します。

4 または を押して【スケルチ】に移動します。 を押して選択します。

5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- または を押して【】に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイの【】の隣に ✓ が表示されます。
- または を押して【】に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイの【】の隣に ✓ が表示されます。

前のメニューに自動的に戻ります。

8.10

LED インジケータのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機で LED インジケータのオンとオフを切り替えます。

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して「せってい」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して「きのうせってい」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して「LED ひょうじ」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - **[P2]** または **[P3]** を押して「オン」に移動します。**[OK]** を押して選択します。ディスプレイで ✓ が「オン」の隣に表示されます。




- **[P2]** または **[P3]** を押して「オフ」に移動します。**[OK]** を押して選択します。ディスプレイで ✓ が「オフ」の隣に表示されます。

8.11

言語の設定

下記の手順に従って、無線機で言語を設定します。

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して「せってい」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して「きのうせってい」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して「げんご」に移動します。**[OK]** を押して選択します。

- 5  または  を押して必要な言語に移動します。
 を押して選択します。

選択した言語の横に ✓ が表示されます。

- チャンネル アップ/チャンネル ダウン ボタンを使用してチャンネルを変更し、VOX を有効にします。
- プログラムされた **[VOX]** ボタンを使用して VOX のオンとオフを切り替えるか、メニューを使用して VOX を有効または無効にします。
- 無線機の動作中に **PTT** ボタンを押すと、VOX は無効になります。

8.12 音声起動送信

音声起動送信 (VOX) により、プログラムされたチャンネルでハンズフリーの音声通話を開始できます。VOX 対応アクセサリのマイクが音声を検出すると、プログラムされた期間中、無線機は自動的に送信します。

マイクのソースは事前に設定されている必要があります。また、VOX 対応アクセサリが事前に設定されたポートに接続されている必要があります。



注記:

別の有効なアクセサリに切り替える場合は、無線機の電源を切り、無線機から VOX 対応マイクを取り外した後で、もう一度電源を入れる必要があります。

次のいずれかの方法で、VOX を有効または無効にすることができます。

- 無線機の電源を切り、もう一度電源を入れて VOX を有効にします。




注記:

この機能のオンとオフの切り替えは、この機能に対応している無線機に限られます。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

8.12.1 音声起動送信のオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機で音声起動送信 (VOX) のオンとオフを切り替えます。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた **[VOX]** ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。

- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して「せってい」に移動します。**[OK]** を押して選択します。

- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して「きのうせってい」に移動します。**[OK]** を押して選択します。

- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して「VOX」に移動します。**[OK]** を押して選択します。

- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - **[P2]** または **[P3]** を押して「オン」に移動します。**[OK]** を押して選択します。ディスプレイで ✓ が「オン」の隣に表示されます。
 - **[P2]** または **[P3]** を押して「オフ」に移動します。**[OK]** を押して選択します。ディスプレイで ✓ が「オフ」の隣に表示されます。



注記:

通話許可トーンが有効であれば、トリガワードを発生して通話を開始します。通話許可トーンが終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。詳細については、「[通話許可トーンのオンとオフの切り替え ページ 142](#)」を参照してください。

8.13

オプションボードのオンとオフの切り替え

各チャンネル内のオプションボード機能をプログラム可能なボタンに割り当てることができます。下記の手順に従って、無線機でオプションボードのオンとオフを切り替えます。

プログラムされた【オプションボード】ボタンを押します。

8.14

音声ガイドのオンとオフの切り替え

この機能をオンにすると、ユーザーがゾーンとチャンネルを割り当てたときや、ユーザーがプログラム可能ボタンを押したときに、その内容を音声で知らせます。ディスプレイに表示されているコンテンツの読み取りが困難な状況で役立ちます。

この音声インジケータは、お客様の要件に応じてカスタマイズできます。下記の手順に従って、無線機で音声ガイドのオンとオフを切り替えます。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【音声ガイド】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 - **☎OK** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **◀P2** または **▶P3** を押して【せってい】に移動します。**☎OK** を押して選択します。
- 3 **◀P2** または **▶P3** を押して【きのうせってい】に移動します。**☎OK** を押して選択します。
- 4 **◀P2** または **▶P3** を押して【おんせいガイド】に移動します。**☎OK** を押して選択します。
- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - **◀P2** または **▶P3** を押して【オン】に移動します。**☎OK** を押して選択します。ディスプレイで ✓ が【オン】の隣に表示されます。

- **◀P2** または **▶P3** を押して【オフ】に移動します。**☎OK** を押して選択します。ディスプレイで ✓ が【オフ】の隣に表示されます。

8.15

アナログ マイク AGC のオンとオフの切り替え

アナログ マイク自動ゲイン制御 (AGC) を使用すると、アナログ システム上で送信するとき、無線機のマイク ゲインを自動的に制御できます。

この機能は、大きい音が出ないようにしたり小さい音をブリセット値まで増幅したりして、音声レベルを一定に保ちます。下記の手順に従って、無線機でアナログ マイク AGC のオンとオフを切り替えます。

- 1 **☎OK** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **◀P2** または **▶P3** を押して【せってい】に移動します。**☎OK** を押して選択します。
- 3 **◀P2** または **▶P3** を押して【きのうせってい】に移動します。**☎OK** を押して選択します。

4 **[P2]** または **[P3]** を押して [Mic AGC-A] に移動します。**[OK]** を押して選択します。

5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- **[P2]** または **[P3]** を押して [オン] に移動します。**[OK]** を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [オン] の隣に表示されます。
 - **[P2]** または **[P3]** を押して [オフ] に移動します。**[OK]** を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [オフ] の隣に表示されます。
-

8.16

デジタル マイク AGC のオンとオフの切り替え

デジタル マイク自動ゲイン制御 (AGC) を使用すると、デジタル システム上で送信するときに、無線機のマイク ゲインを自動的に制御できます。

この機能は、大きい音が出ないようにしたり小さい音をブリセット値まで増幅したりして、音声レベルを一定に保ち

ます。下記の手順に従って、無線機でデジタル マイク AGC のオンとオフを切り替えます。

1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

2 **[P2]** または **[P3]** を押して [せってい] に移動します。**[OK]** を押して選択します。

3 **[P2]** または **[P3]** を押して [きのうせってい] に移動します。**[OK]** を押して選択します。

4 **[P2]** または **[P3]** を押して [Mic AGC-D] に移動します。**[OK]** を押して選択します。

5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- **[P2]** または **[P3]** を押して [オン] に移動します。**[OK]** を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [オン] の隣に表示されます。
 - **[P2]** または **[P3]** を押して [オフ] に移動します。**[OK]** を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [オフ] の隣に表示されます。
-

8.17

インテリジェント オーディオのオンとオフの切り替え

定常騒音源と非定常騒音源の両方を含む、周辺環境の背景雑音が多い場合、それに負けないように音量を自動的に調整します。これは受信側の限定機能であり、送信音声は影響を受けません。下記の手順に従って、無線機でインテリジェント オーディオのオンとオフを切り替えます。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【インテリジェント オーディオ】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 - **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

-
- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して【せってい】に移動します。**[OK]** を押して選択します。

-
- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して【きのうせってい】に移動します。**[OK]** を押して選択します。

-
- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して【Int オーディオ】に移動します。**[OK]** を押して選択します。

-
- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- **[P2]** または **[P3]** を押して【オン】に移動します。**[OK]** を押して選択します。ディスプレイで✓が【オン】の隣に表示されます。
- **[P2]** または **[P3]** を押して【オフ】に移動します。**[OK]** を押して選択します。ディスプレイで✓が【オフ】の隣に表示されます。

8.18

トリル拡張のオンとオフの切り替え

歯茎でのトリル音 (転がるような "R") の単語を多用する言語で話しているとき、この機能を有効にできます。下記の手順に従って、無線機でトリル拡張のオンとオフを切り替えます。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【トリル拡張】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。

- **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

2 **[P2]** または **[P3]** を押して「せってい」に移動します。**[OK]** を押して選択します。

3 **[P2]** または **[P3]** を押して「きのうせってい」に移動します。**[OK]** を押して選択します。

4 **[P2]** または **[P3]** を押して「トリル かくちょう」に移動します。**[OK]** を押して選択します。

5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- **[P2]** または **[P3]** を押して「オン」に移動します。**[OK]** を押して選択します。ディスプレイで ✓ が「オン」の隣に表示されます。
- **[P2]** または **[P3]** を押して「オフ」に移動します。**[OK]** を押して選択します。ディスプレイで ✓ が「オフ」の隣に表示されます。

音声アンビエンス

環境に応じて、無線機の音声アンビエンスをカスタマイズできます。

デフォルト

これはデフォルト設定です。

だいおんりょう

この設定は、ノイズ抑制を有効にしてスピーカの音量を上げ、周囲の騒音が大きい環境でも使用できるようにします。

ワークグループ

この設定は、ハウリング抑制を有効にして AGC を無効にし、複数の無線機が相互に近い場所にあっても使用できるようにします。

8.19.1

音声アンビエンスの設定

下記の手順に従って、お使いの環境に応じて無線機で音声アンビエンスを設定します。

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して「**せってい**」に移動します。**[OK]** を押して選択します。

- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して「**きのうせってい**」に移動します。**[OK]** を押して選択します。

- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して「**オンセイ アンビエンス**」に移動します。**[OK]** を押して選択します。

- 5 **[P2]** または **[P3]** を押して必要な設定に移動します。**[OK]** を押して選択します。
設定は次のとおりです。
 - デフォルト
 - だいおんりょう
 - ワーク グループ選択した設定の横に **✓** が表示されます。

8.20

音声プロフィール

優先度に応じて、無線機の音声プロフィールをカスタマイズできます。

デフォルト

これはデフォルト設定です。

レベル 1、レベル 2、およびレベル 3

40代、50代、60代以上の成人には、一般的にノイズで誘発される難聴がありますが、これらの設定は、この難聴の特性に応じて音声を補正します。

トレブルブースト、ミッドブースト、およびバスブースト
これらの設定は、金属的な細かい音声、鼻声、深い音声などに対応しています。

8.20.1

音声プロフィールの設定

下記の手順に従って、無線機で音声プロフィールを設定します。

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して「**せってい**」に移動します。**[OK]** を押して選択します。

3 **[P2]** または **[P3]** を押して『きのうせってい』に移動します。 **[OK]** を押して選択します。

4 **[P2]** または **[P3]** を押して『オンセイ プロファイル』に移動します。 **[OK]** を押して選択します。

5 **[P2]** または **[P3]** を押して必要な設定に移動します。 **[OK]** を押して選択します。

設定は次のとおりです。

選択した設定の横に ✓ が表示されます。

8.21

一般無線機情報

無線機には、一般的パラメータに関する様々な情報が含まれています。

無線機の一般情報は以下のとおりです。

- 無線エイリアスと ID
- ファームウェアとコードプラグの各バージョン
- ソフトウェア更新
- サイト情報



注記:

[戻る] を押して前の画面に戻ります。ホーム画面に戻るには、**[戻る]** を長押しします。無線機は、無操作タイマーの終了後に、現在の画面を終了します。

8.21.1

無線エイリアスと ID のチェック

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた **[無線エイリアスと ID]** ボタンを押します。以下の手順をスキップします。ポジティブインジケータ トーンが鳴ります。

プログラムされた **[無線エイリアスと ID]** ボタンを押して、前の画面に戻ることができます。

- **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

2 **[P2]** または **[P3]** を押して『せってい』に移動します。 **[OK]** を押して選択します。

3 **[P2]** または **[P3]** を押して『きき じょうほう』に移動します。 **[OK]** を押して選択します。

8.21.2

ファームウェアとコードプラグのバージョンチェック

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して「せってい」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して「きき じょうほう」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して「バージョン」に移動します。**[OK]** を押して選択します。

ディスプレイに現在のファームウェアとコードプラグの各バージョンが表示されます。

8.21.3

ソフトウェア更新情報のチェック

この機能は、OTAP または Wi-Fi を通じて実行された最新のソフトウェア更新の日付と時間を表示します。下記の手順

に従って、無線機でソフトウェア更新情報をチェックします。

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して「せってい」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して「きき じょうほう」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して「ソフト アップデート」に移動します。**[OK]** を押して選択します。
ディスプレイに最新のソフトウェア更新の日付と時刻が表示されます。

ソフトウェア更新メニューは、少なくとも 1 回の OTAP または Wi-Fi セッションが正常に完了した後でのみ利用できるようになります。詳細については、[エア接続プログラミング ページ 134](#) を参照してください。

認可されたアクセサリ リスト

短い参照説明。

アンテナ

- VHF、136 ~ 144MHz、1/4 WAVE、スルーホール実装、BNC (RAD4198_)
- VHF、146 ~ 150.8MHz、1/4 WAVE、スルーホール実装、BNC (RAD4199_)
- VHF、150.8 ~ 162MHz、1/4 WAVE、スルーホール実装、BNC (RAD4200_)
- VHF、162 ~ 174MHz、1/4 WAVE、スルーホール実装、BNC (RAD4201_)
- UHF、403 ~ 430MHz、1/4 WAVE、スルーホール実装、BNC (RAE4151_)
- UHF、450 ~ 470MHz、1/4 WAVE、スルーホール実装、BNC (RAE4152_)
- UHF、403 ~ 527MHz、2dB ゲイン、スルーホール実装、BNC (HAE6021_)

オーディオ

- バイザ マイク (全方向性) (GMMN4065_)

- マイク掛けクリップ (要取り付け) (HLN9073_)
- マイク掛けクリップ (ユニバーサル – 取り付け不要) (HLN9414_)
- 外部スピーカ 7.5 W (HSN8145_)
- テレフォン スタイル ハンドセット (ハングアップ カップ含む) (PMLN6481_)
- 拡張キーパッド付きマイク (PMMN4089_)
- クリップ付きコンパクト マイク (PMMN4090_)
- ヘビー デューティー マイク (PMMN4091_)
- 外部スピーカ 13 W (RSN4001_)

ケーブル

- スピーカ延長ケーブル (GMKN4084_)
- 携帯電源ケーブル 10 フィート、14 AWG、15A (HKN4137_)
- 携帯電源ケーブル 10 フィート、12 AWG、20A (HKN4191_)
- 携帯電源ケーブル 20 フィート、10 AWG、20A (HKN4192_)
- イグニッション スイッチ ケーブル (HKN9327_R)

- バック 16 ピン MAP ユニバーサル ケーブル (PMKN4151_)

取り付けキット

- トラニオン蝶ねじ M5 x 0.8 x 9.9mm (03012045001)
- DIN マウント (FTN6083_)
- ロー プロファイル トラニオン キット (RLN6466_)
- ハイ プロファイル トラニオン キット (RLN6467_)
- キー ロック トラニオン キット (RLN6468_)

その他のアクセサリ

- コネクタとピン付きリア アクセサリ コネクタ シーリング (GMBN1021_)
- 16 ピン MAP コネクタ キット (HLN9457_)
- コネクタ エクステンダ - 20 個 (PMLN5620_)
- 緊急フットスイッチ付き外部 PTT (RLN4836_R)
- リモート PTT 付きフットスイッチ (RLN4856_)
- リモート PTT 付き押しボタン (RLN4857_)
- グースネック PTT (RLN4858_)

www.motorolasolutions.com/mototrbo

Motorola Solutions Malaysia Sdn. Bhd.
Plot 2A, Medan Bayan Lepas,
Mukim 12, S.W.D.
11900 Bayan Lepas, Penang,
Malaysia.

Printed in Malaysia

无线电发射设备型号核准代码会在设备标签上注明。

MOTOROLA, MOTO, MOTOROLA SOLUTIONS and the Stylized M Logo are trademarks or registered trademarks of Motorola Trademark Holdings, LLC and are used under license. All other trademarks are the property of their respective owners. © 2013 and 2020 Motorola Solutions, Inc. All rights reserved.

